

鎌ヶ谷市市街化調整区域の土地利用方針策定業務

市民アンケート調査報告書

令和7年3月

鎌ヶ谷市

目 次

(1) 目的	P.1
(2) 実施概要	P.1
(3) 主な設問項目	P.1
(4) 集計結果概要	P.2
(5) 集計結果	P.3
1) ご自身(回答者属性)と住まいについて	P.3
2) お住まいの地域について	P.8
3) 区域区分について	P.19
4) 調整区域における問題点について	P.20
5) 調整区域におけるまちづくり	P.22
6) 調整区域における所有地について	P.26

(1) 目的

市街化調整区域における土地利用の方針の検討にあたり、当該区域についての問題や課題、今後のまちづくりの方向性について市民の意見を聴取するほか、市街化調整区域に所有する土地についての状況や今後の利用意向などについて把握するため意向調査を行った。

(2) 実施概要

実施の概要は以下のとおりです。

配布数	3,000 通 (市街化区域居住者：1,500 人 市街化調整区域居住者：1,500 人)
対象者	鎌ヶ谷市内に住所を有する 18 歳以上の市民から無作為抽出
配布・回収方法	郵送
配布物	・案内文 ・調査に関するリーフレット ・アンケート調査票
回答期間	令和 7 年 1 月 7 日（火）差出し 1 月 31 日（金）締切り
回収結果	・市街化区域居住者 回収数：574 通（回収率：38.3%） ・市街化調整区域居住者 回収数：622 通（回収率：41.5%）

(3) 主な設問項目

アンケートにおいては、以下のような構成で設問を作成しました。

項目	主な内容
個人属性	・回答者の属性（年代、住まいの地域、世帯構成、居住年数、住まいの形態）を確認する。
周辺地域の住みやすさ	・居住地域の住みやすさについて、住環境や景観、都市基盤など 8 項目について、満足度及び重要度を 4 段階で評価を求める。
区域区分についての知識	・区域区分制度について、市民のこれまでの理解の程度を確認する。
調整区域における問題点	・調整区域に市民視点による問題点を把握する。
調整区域におけるまちづくり	・調整区域における今後のまちづくりについて、エリアごとの市民意向を確認する。
調整区域における所有地について *地権者対象	・調整区域の地権者に対し、所有地の規模と今後の利用意向について 4 つの用途別に確認する。

(4) 集計結果概要

主な設問の回答結果概要は以下のとおりです。

〔地域の環境の評価〕

- 調整区域居住者及び市街化区域居住者のいずれにおいても、「住まいの環境の良さ」「豊かな自然環境」については満足とする割合（「満足している」と「ある程度満足している」の合計）が高い。
- いずれの地域でも「主な生活道路の快適性・安全性」については満足していないとの回答が概ね半数を占め、「幹線道路の利便性（アクセスのしやすさ）」についても4割程度にのぼった。

〔市街化調整区域の問題〕

- 「狭い道路や歩行に危険を感じる道路が多い」「食料品や日用品を取り扱う商業施設が遠い、行きづらい」という生活環境の利便性・安全性に関する回答が多い。
- 次いで、「手入れの行き届かない農地や荒れた山林が増えている」「資材置き場や残土置場、駐車場などが増えている」という環境の悪化に関する回答が多い。
- その他では、「空家が増えている」という高齢化・将来の人口減少に対して懸念する回答が多い。

〔市街化調整区域の今後のまちづくり〕

- まとまった農地や樹園地があるエリア：「既存の集落を中心とした、落ち着いた居住環境を維持するまちづくり」「開発を抑制し、優良な農地の保全や農業の発展、山林の保護を重視したまちづくり」を選ぶ方がいずれも25%程度となっている。
- 駅周辺のエリア：「商業施設等を誘致し、郊外にもにぎわいのある拠点を形成するまちづくり」を選んだ方がいずれの地域においても55%と高い。
- 国道・県道沿道のエリア：「計画されている北千葉道路やインターチェンジ周辺、幹線道路沿道に、工場や商業施設等が進出しやすい環境を整備するなど、産業の発展に寄与するまちづくり」が50%程度と高い。

〔農地・樹園地の利用〕

- 調整区域において土地を貸し出している農家はわずかであり、今後の利用意向については回答者70人のうち5割強の37人が現状のままの使用、3割強にあたる23人が貸出しや売却を希望している。

(5) 集計結果

市民アンケートの実施概要は以下のとおりです。

※図表内に示す比率は、小数点四捨五入の関係上、合計が100.0にならない場合があります。

また、構成比については「無回答」を除いた割合で算出しています。

1) ご自身（回答者属性）と住まいについて

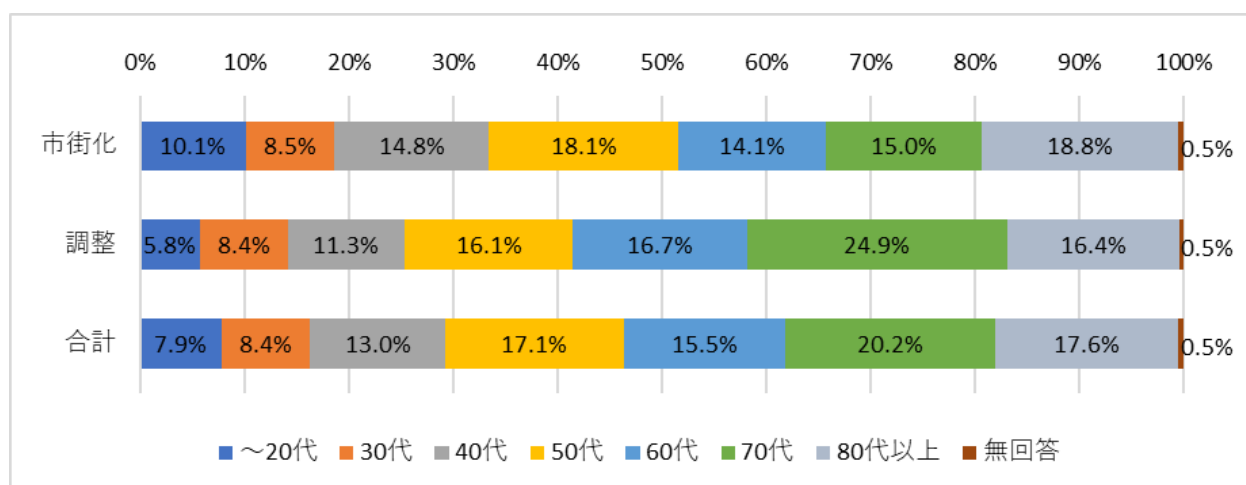
問1. 年齢をお答えください。（1つだけ○）

○市街化区域では、「80代以上」が最も多く18.8%、次いで「50代以上」が18.1%、「70代」が15.0%となっています。

○市街化調整区域では、「70代」が最も多く24.9%、次いで「60代以上」が16.7%、「80代以上」が16.4%となっています。

○全体（合計）では、「70代」が最も多く20.2%、次いで「80代以上」が17.6%、「50代」が17.1%となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
～20代	58	36	94	10.1%	5.8%	7.9%
30代	49	52	101	8.5%	8.4%	8.4%
40代	85	70	155	14.8%	11.3%	13.0%
50代	104	100	204	18.1%	16.1%	17.1%
60代	81	104	185	14.1%	16.7%	15.5%
70代	86	155	241	15.0%	24.9%	20.2%
80代以上	108	102	210	18.8%	16.4%	17.6%
無回答	3	3	6	0.5%	0.5%	0.5%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



問 2. お住まいの地域をお答えください。(1つだけ○)

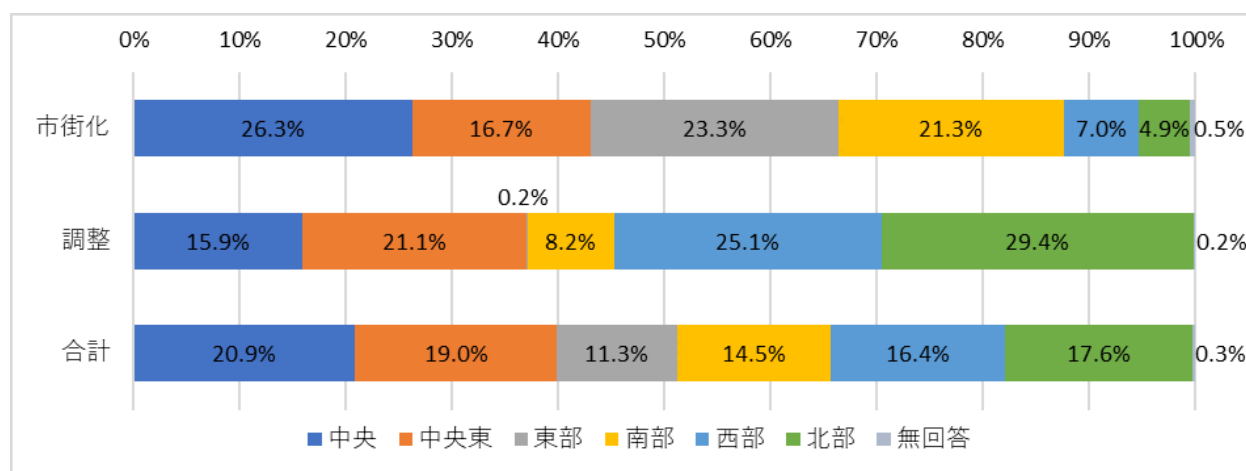
本報告書では以下のように地域別にて集計を行っています。

地域	選択肢
中央	1. 道野辺中央 2. 道野辺本町 3. 初富本町 4. 右京塚 5. 南初富四～六丁目 6. 中央 7. 富岡 8. 初富(928～931 番地) 9. 新鎌ヶ谷
中央東	10. 東鎌ヶ谷 11. 東初富 12. 南初富一～三丁目 13. 初富(700～927 番地)
東部	14. 丸山 15. 鎌ヶ谷 16. 東道野辺二～七丁目 17. 南鎌ヶ谷
南部	18. 東中沢 19. 東道野辺一丁目 20. 西道野辺 21. 馬込沢 22. 道野辺 23. 中沢 24. 北中沢 25. 中沢新町
西部	26. くぬぎ山 27. 栗野(426～538 番地) 28. 佐津間(1300 番地～) 29. 串崎新田 30. 北初富 31. 初富(1～399、1300 番地～)
北部	32. 栗野(1～425、539 番地～) 33. 佐津間(1～1299 番地) 34. 中佐津間 35. 西佐津間 36. 南佐津間 37. 軽井沢

○市街化区域では、「中央」が最も多く 26.3%、次いで「東部」が 23.3%、「南部」が 21.3%となっています。

○市街化調整区域では、「北部」が最も多く 29.4%、次いで「西部」が 25.1%、「中央東」が 21.1%となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
中央	151	99	250	26.3%	15.9%	20.9%
中央東	96	131	227	16.7%	21.1%	19.0%
東部	134	1	135	23.3%	0.2%	11.3%
南部	122	51	173	21.3%	8.2%	14.5%
西部	40	156	196	7.0%	25.1%	16.4%
北部	28	183	211	4.9%	29.4%	17.6%
無回答	3	1	4	0.5%	0.2%	0.3%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%

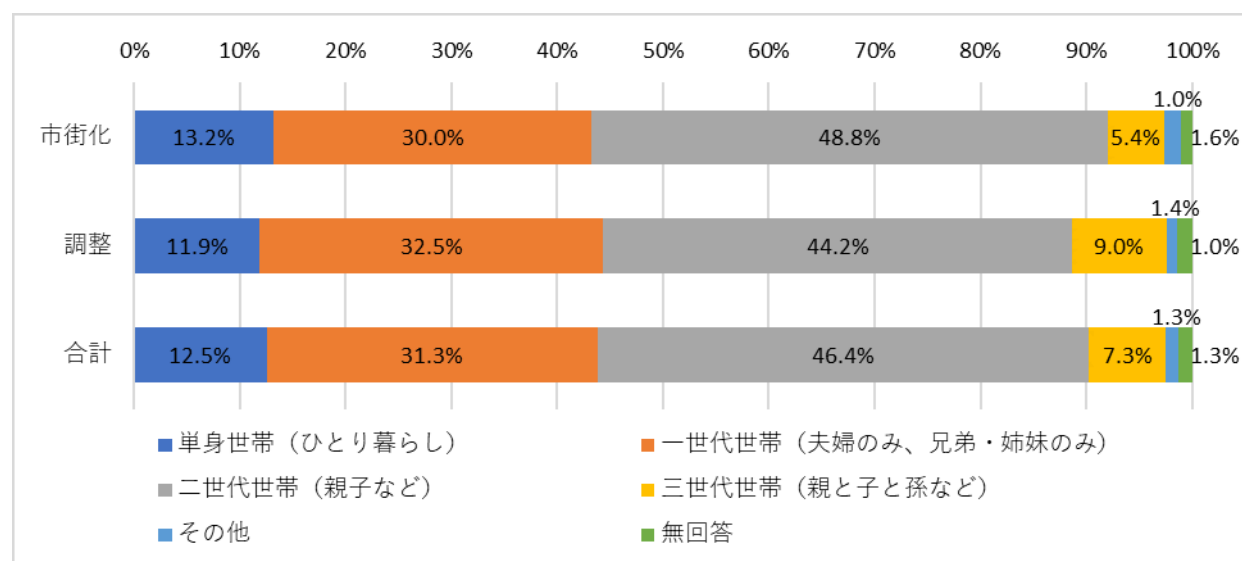


問3. 世帯構成をお答えください。(1つだけ○)

○市街化区域では、「二世代世帯（親子など）」が最も多く 48.8%、次いで「一世代世帯（夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ）」が 30.0%であり、その世帯で 70%以上を占めています。

○市街化区域と同様に市街化調整区域、全体（合計）でも、「二世代世帯（親子など）」が最も多く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ）」となっており、その世帯で 70%以上を占めています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
単身世帯（ひとり暮らし）	76	74	150	13.2%	11.9%	12.5%
一世代世帯（夫婦のみ、兄弟・姉妹のみ）	172	202	374	30.0%	32.5%	31.3%
二世代世帯（親子など）	280	275	555	48.8%	44.2%	46.4%
三世代世帯（親と子と孫など）	31	56	87	5.4%	9.0%	7.3%
その他	9	6	15	1.6%	1.0%	1.3%
無回答	6	9	15	1.0%	1.4%	1.3%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



問4. 鎌ヶ谷市に住んでから何年になりますか。(1つだけ○)

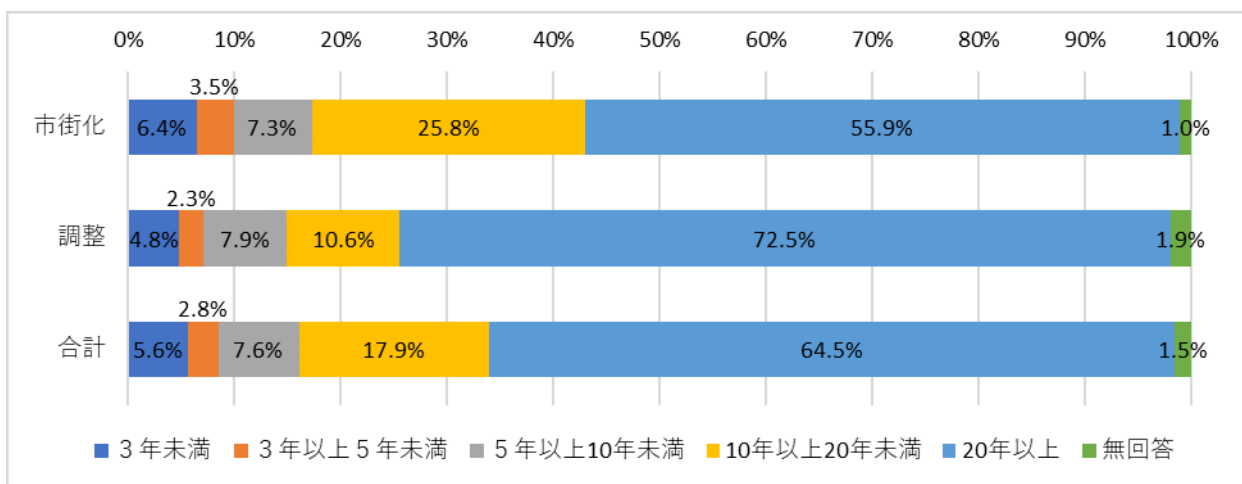
※市から転出して戻られた方は、直近の居住期間をお答えください。

○市街化区域では、「20年以上」が最も多く55.9%、次いで「10年以上20年未満」が25.8%であり、合わせると80%以上を占めています。

○市街化調整区域では、「20年以上」が最も多く72.5%、次いで「10年以上20年未満」が10.6%であり、合わせると市街化区域と同様に80%以上を占めています。

○「20年以上」が占める割合が市街化区域に比べて市街化調整区域の方が15%以上高いことから、市街化調整区域のお住まいの方が長く住まわれていることが伺えます。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
3年未満	37	30	67	6.4%	4.8%	5.6%
3年以上5年未満	20	14	34	3.5%	2.3%	2.8%
5年以上10年未満	42	49	91	7.3%	7.9%	7.6%
10年以上20年未満	148	66	214	25.8%	10.6%	17.9%
20年以上	321	451	772	55.9%	72.5%	64.5%
無回答	6	12	18	1.0%	1.9%	1.5%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



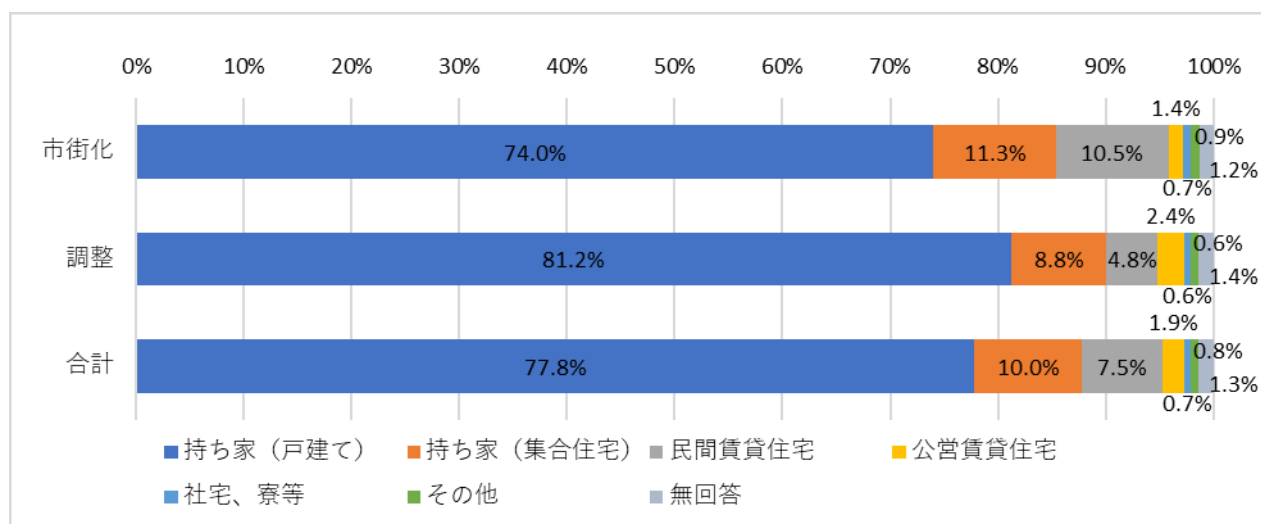
問 5. お住まいの形態を以下からお答えください。(1つだけ○)

○市街化区域では、「持ち家（戸建て）」が最も多く 74.0%、次いで「持ち家（集合住宅）」が 11.3%であり、持ち家率は 85%以上となっています。

○市街化調整区域では、「持ち家（戸建て）」が最も多く 81.2%、次いで「持ち家（集合住宅）」が 8.8%であり、持ち家率は 90%となっています。

○市街化区域、市街化調整区域ともに高い持ち家率となっていますが、特に「持ち家（戸建て）」の占める割合が高いことが伺えます。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
持ち家（戸建て）	425	505	930	74.0%	81.2%	77.8%
持ち家（集合住宅）	65	55	120	11.3%	8.8%	10.0%
民間賃貸住宅	60	30	90	10.5%	4.8%	7.5%
公営賃貸住宅	8	15	23	1.4%	2.4%	1.9%
社宅、寮等	4	4	8	0.7%	0.6%	0.7%
その他	5	4	9	0.9%	0.6%	0.8%
無回答	7	9	16	1.2%	1.4%	1.3%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



2) お住まいの地域について（住みやすさ）

問 6. お住まいの地域の住みやすさについて、以下の項目ごとに満足度と重要度をお答えください。

① 満足度

【市街化区域】

- 「満足している」と「ある程度満足している」の合計が最も多いのは、「① 住まいの環境の良さ」の 72.6%、次いで「⑦ 日常の買い物の便利さ」が 57.6%となっていることから、都市の利便性に係る内容に対して満足していることが伺えます。
- 「あまり満足していない」と「満足していない」の合計が最も多いのは、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」の 48.6%、次いで「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」が 36.2%となっていることから、都市交通の道路網に係る内容に対して不満があることが伺えます。

【市街化調整区域】

- 「満足している」と「ある程度満足している」の合計が最も多いのは、「② 豊かな自然環境」の 63.5%、次いで「① 住まいの環境の良さ」が 62.2%となっていることから、自然豊かな住環境に係る内容に対して満足していることが伺えます。
- 「あまり満足していない」と「満足していない」の合計が最も多いのは、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」の 54.5%、次いで「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」が 40.2%となっていることから、市街化区域と同様に都市交通の道路網に係る内容に対して不満があることが伺えます。

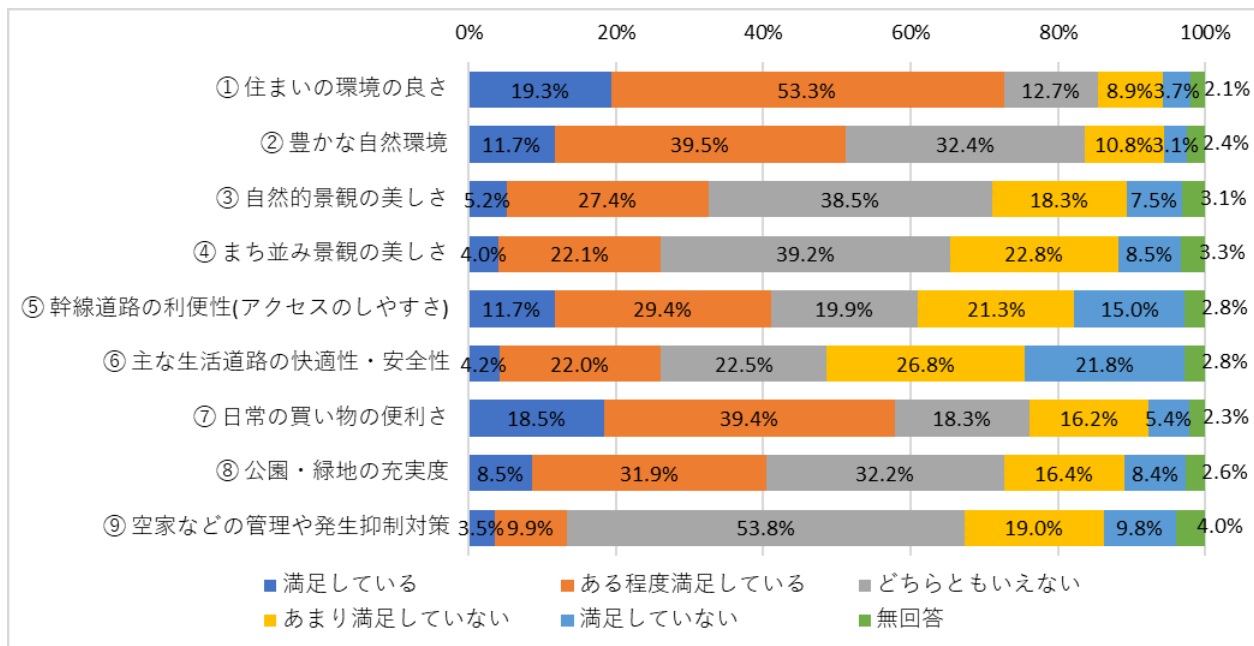
【全体（合計）】

- 「満足している」と「ある程度満足している」の合計が最も多いのは、「① 住まいの環境の良さ」の 67.2%、次いで「② 豊かな自然環境」が 57.6%となっていることから、市全体として地域の特性を活かした住環境や自然環境が形成されていることに満足していることが伺えます。
- 「あまり満足していない」と「満足していない」の合計が最も多いのは、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」の 51.7%、次いで「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」が 38.3%となっており、市街化区域や市街化調整区域でも同様の傾向にあるため、市全体として幹線道路の円滑な交通や生活道路の快適性・安全性の確保が求められます。

<市街化区域>

	回答数						合計
	満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	111	306	73	51	21	12	574
② 豊かな自然環境	67	227	186	62	18	14	574
③ 自然的景観の美しさ	30	157	221	105	43	18	574
④ まち並み景観の美しさ	23	127	225	131	49	19	574
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	67	169	114	122	86	16	574
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	24	126	129	154	125	16	574
⑦ 日常の買い物の便利さ	106	226	105	93	31	13	574
⑧ 公園・緑地の充実度	49	183	185	94	48	15	574
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	20	57	309	109	56	23	574

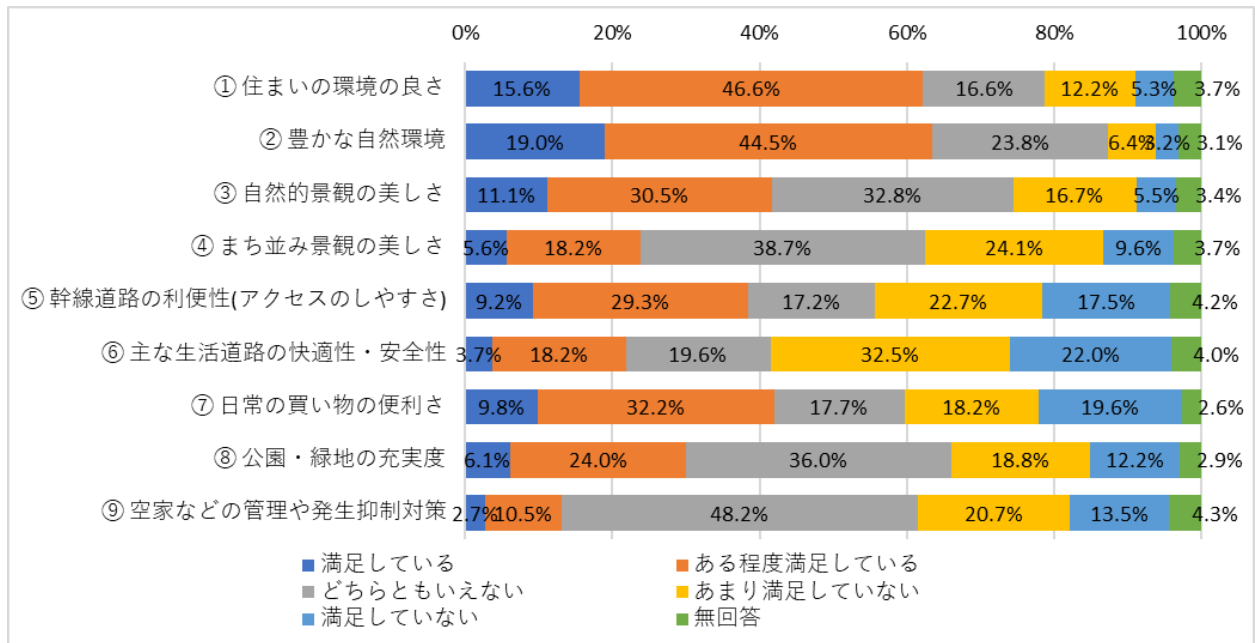
	構成比						合計
	満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	19.3%	53.3%	12.7%	8.9%	3.7%	2.1%	100.0%
② 豊かな自然環境	11.7%	39.5%	32.4%	10.8%	3.1%	2.4%	100.0%
③ 自然的景観の美しさ	5.2%	27.4%	38.5%	18.3%	7.5%	3.1%	100.0%
④ まち並み景観の美しさ	4.0%	22.1%	39.2%	22.8%	8.5%	3.3%	100.0%
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	11.7%	29.4%	19.9%	21.3%	15.0%	2.8%	100.0%
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	4.2%	22.0%	22.5%	26.8%	21.8%	2.8%	100.0%
⑦ 日常の買い物の便利さ	18.5%	39.4%	18.3%	16.2%	5.4%	2.3%	100.0%
⑧ 公園・緑地の充実度	8.5%	31.9%	32.2%	16.4%	8.4%	2.6%	100.0%
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	3.5%	9.9%	53.8%	19.0%	9.8%	4.0%	100.0%



<市街化調整区域>

	回答数						合計
	満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	97	290	103	76	33	23	622
② 豊かな自然環境	118	277	148	40	20	19	622
③ 自然的景観の美しさ	69	190	204	104	34	21	622
④ まち並み景観の美しさ	35	113	241	150	60	23	622
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	57	182	107	141	109	26	622
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	23	113	122	202	137	25	622
⑦ 日常の買い物の便利さ	61	200	110	113	122	16	622
⑧ 公園・緑地の充実度	38	149	224	117	76	18	622
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	17	65	300	129	84	27	622

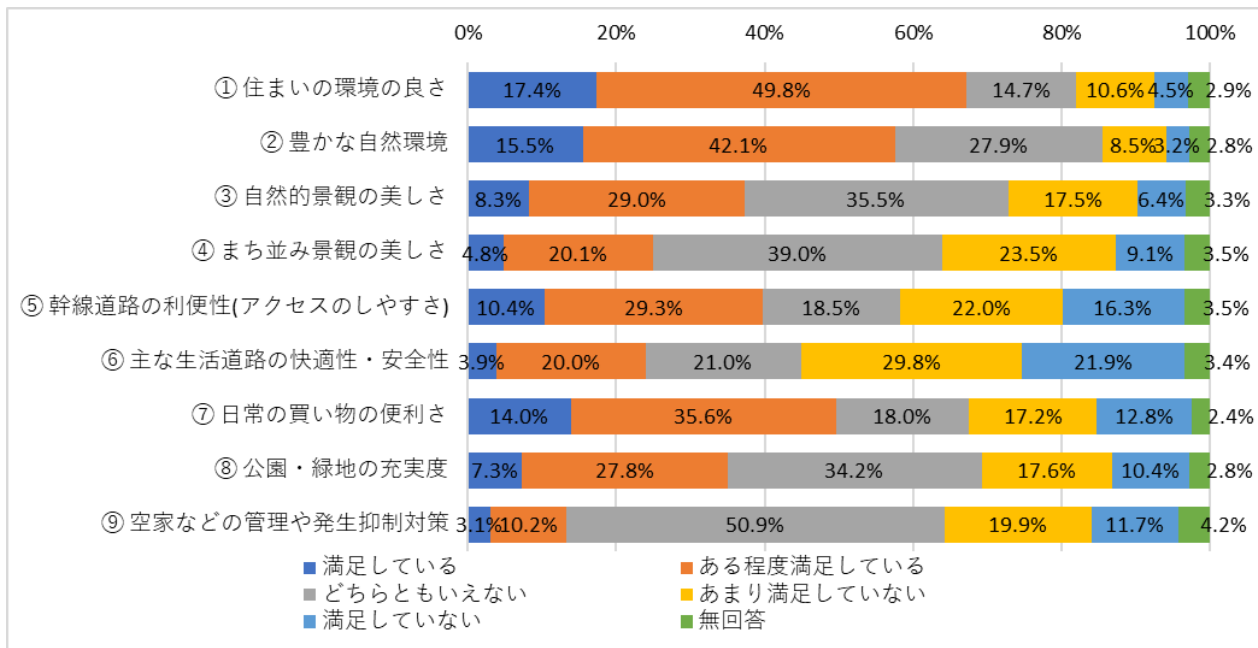
	構成比						合計
	満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	15.6%	46.6%	16.6%	12.2%	5.3%	3.7%	100.0%
② 豊かな自然環境	19.0%	44.5%	23.8%	6.4%	3.2%	3.1%	100.0%
③ 自然的景観の美しさ	11.1%	30.5%	32.8%	16.7%	5.5%	3.4%	100.0%
④ まち並み景観の美しさ	5.6%	18.2%	38.7%	24.1%	9.6%	3.7%	100.0%
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	9.2%	29.3%	17.2%	22.7%	17.5%	4.2%	100.0%
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	3.7%	18.2%	19.6%	32.5%	22.0%	4.0%	100.0%
⑦ 日常の買い物の便利さ	9.8%	32.2%	17.7%	18.2%	19.6%	2.6%	100.0%
⑧ 公園・緑地の充実度	6.1%	24.0%	36.0%	18.8%	12.2%	2.9%	100.0%
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	2.7%	10.5%	48.2%	20.7%	13.5%	4.3%	100.0%



<全体（合計）>

	回答数						合計
	満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	208	596	176	127	54	35	1196
② 豊かな自然環境	185	504	334	102	38	33	1196
③ 自然的景観の美しさ	99	347	425	209	77	39	1196
④ まち並み景観の美しさ	58	240	466	281	109	42	1196
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	124	351	221	263	195	42	1196
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	47	239	251	356	262	41	1196
⑦ 日常の買い物の便利さ	167	426	215	206	153	29	1196
⑧ 公園・緑地の充実度	87	332	409	211	124	33	1196
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	37	122	609	238	140	50	1196

	構成比						合計
	満足している	ある程度満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	17.4%	49.8%	14.7%	10.6%	4.5%	2.9%	100.0%
② 豊かな自然環境	15.5%	42.1%	27.9%	8.5%	3.2%	2.8%	100.0%
③ 自然的景観の美しさ	8.3%	29.0%	35.5%	17.5%	6.4%	3.3%	100.0%
④ まち並み景観の美しさ	4.8%	20.1%	39.0%	23.5%	9.1%	3.5%	100.0%
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	10.4%	29.3%	18.5%	22.0%	16.3%	3.5%	100.0%
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	3.9%	20.0%	21.0%	29.8%	21.9%	3.4%	100.0%
⑦ 日常の買い物の便利さ	14.0%	35.6%	18.0%	17.2%	12.8%	2.4%	100.0%
⑧ 公園・緑地の充実度	7.3%	27.8%	34.2%	17.6%	10.4%	2.8%	100.0%
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	3.1%	10.2%	50.9%	19.9%	11.7%	4.2%	100.0%



②重要度

【市街化区域】

- 「重要である」と「ある程度重要である」の合計では、「① 住まいの環境の良さ」、「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」、「⑦ 日常の買い物の便利さ」が 80%以上となっていることから、日常生活の利便性に係る内容に対して重要視していることが伺えます。
- 「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計は、全体的に 10%未満となっており、低い傾向にありますが、その中でも「② 豊かな自然環境」、「③ 自然的景観の美しさ」、「⑧ 公園・緑地の充実度」が 5%以上となっていることから、都市環境に係る内容に対してはあまり重要視されていないことが伺えます。

【市街化調整区域】

- 「重要である」と「ある程度重要である」の合計では、全体的に 60%以上となっており、高い傾向にありますが、その中でも「① 住まいの環境の良さ」、「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」が 75%以上となっていることから、市街化区域と同様に日常生活の利便性に係る内容に対して重要視していることが伺えます。
- 「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計は、全体的に 10%未満となっており、低い傾向にありますが、その中でも「② 豊かな自然環境」、「③ 自然的景観の美しさ」、「④ まち並み景観の美しさ」、「⑧ 公園・緑地の充実度」が 5%以上となっていることから、市街化区域と同様に都市環境に係る内容に対してはあまりされていないことが伺えます。

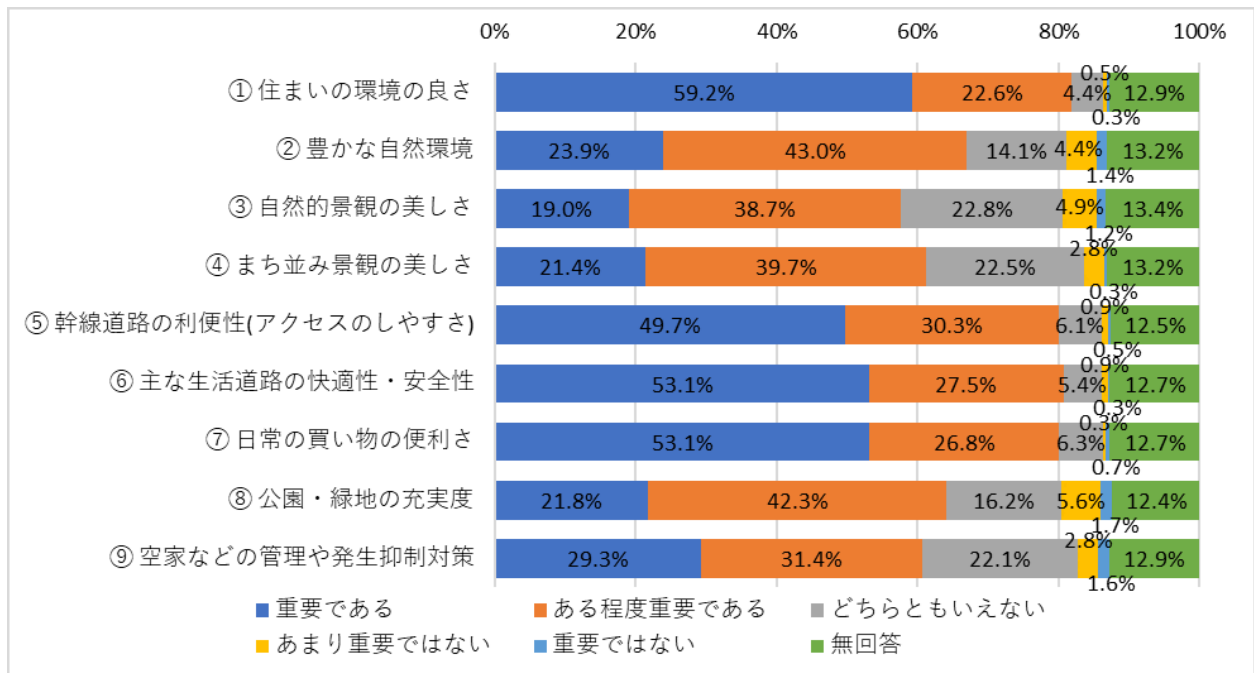
【全体（合計）】

- 「重要である」と「ある程度重要である」の合計では、市街化区域と市街化調整区域と同様の傾向にあり、市全体でも日常生活の利便性に係る内容に対して重要視していることが伺えます。
- 「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計は、市街化区域と市街化調整区域と同様の傾向にあり、都市環境に係る内容に対してはあまり重要視されていないことが伺えます。

<市街化区域>

	回答数						合計
	重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	340	130	25	3	2	74	574
② 豊かな自然環境	137	247	81	25	8	76	574
③ 自然的景観の美しさ	109	222	131	28	7	77	574
④ まち並み景観の美しさ	123	228	129	16	2	76	574
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	285	174	35	5	3	72	574
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	305	158	31	5	2	73	574
⑦ 日常の買い物の便利さ	305	154	36	2	4	73	574
⑧ 公園・緑地の充実度	125	243	93	32	10	71	574
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	168	180	127	16	9	74	574

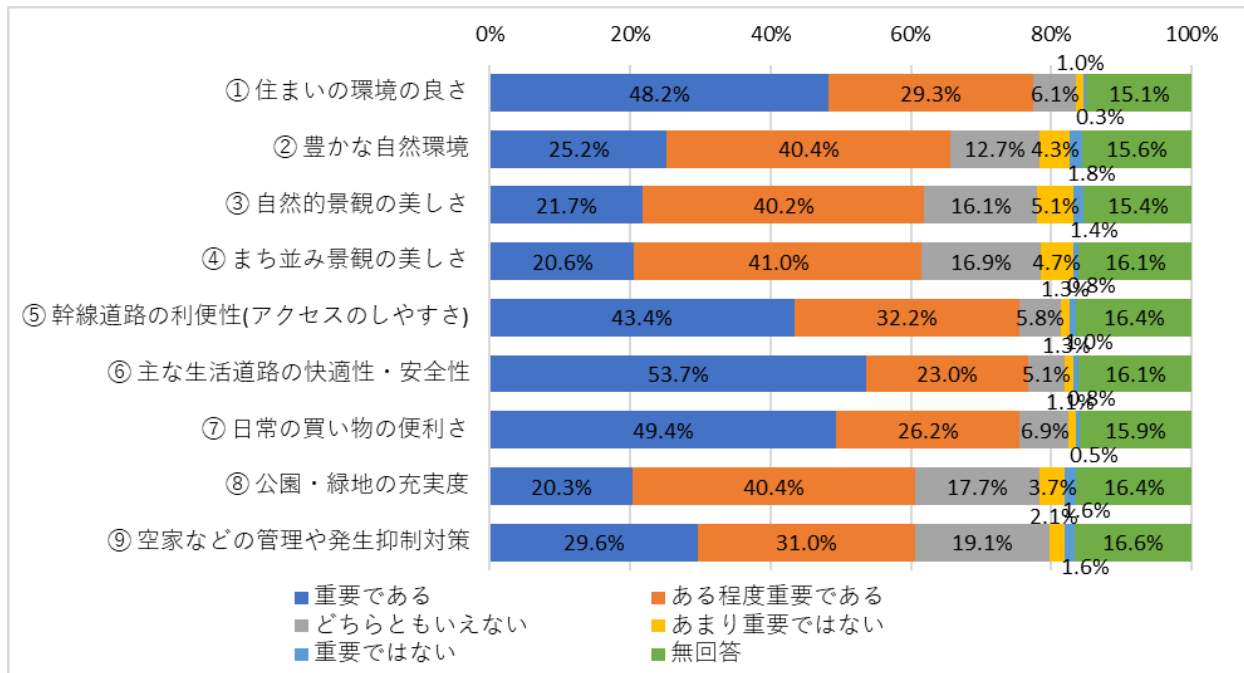
	構成比						合計
	重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	59.2%	22.6%	4.4%	0.5%	0.3%	12.9%	100.0%
② 豊かな自然環境	23.9%	43.0%	14.1%	4.4%	1.4%	13.2%	100.0%
③ 自然的景観の美しさ	19.0%	38.7%	22.8%	4.9%	1.2%	13.4%	100.0%
④ まち並み景観の美しさ	21.4%	39.7%	22.5%	2.8%	0.3%	13.2%	100.0%
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	49.7%	30.3%	6.1%	0.9%	0.5%	12.5%	100.0%
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	53.1%	27.5%	5.4%	0.9%	0.3%	12.7%	100.0%
⑦ 日常の買い物の便利さ	53.1%	26.8%	6.3%	0.3%	0.7%	12.7%	100.0%
⑧ 公園・緑地の充実度	21.8%	42.3%	16.2%	5.6%	1.7%	12.4%	100.0%
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	29.3%	31.4%	22.1%	2.8%	1.6%	12.9%	100.0%



<市街化区域>

	回答数						合計
	重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	300	182	38	6	2	94	622
② 豊かな自然環境	157	251	79	27	11	97	622
③ 自然的景観の美しさ	135	250	100	32	9	96	622
④ まち並み景観の美しさ	128	255	105	29	5	100	622
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	270	200	36	8	6	102	622
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	334	143	32	8	5	100	622
⑦ 日常の買い物の便利さ	307	163	43	7	3	99	622
⑧ 公園・緑地の充実度	126	251	110	23	10	102	622
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	184	193	119	13	10	103	622

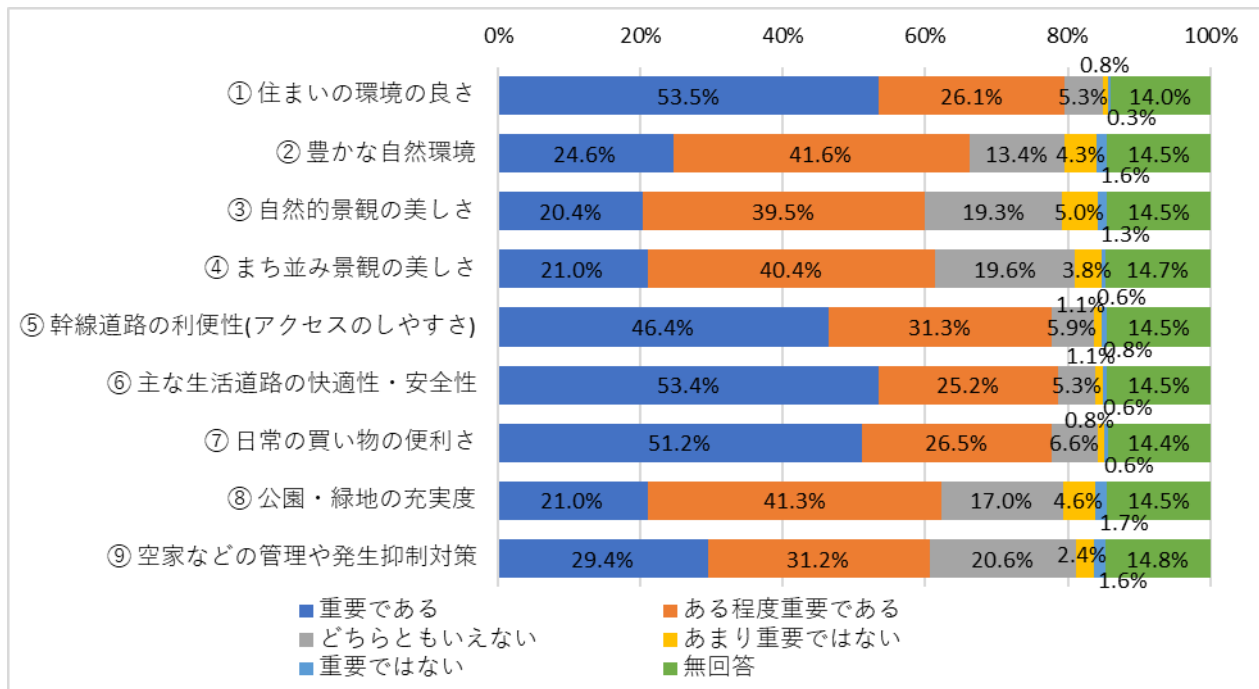
	構成比						合計
	重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	48.2%	29.3%	6.1%	1.0%	0.3%	15.1%	100.0%
② 豊かな自然環境	25.2%	40.4%	12.7%	4.3%	1.8%	15.6%	100.0%
③ 自然的景観の美しさ	21.7%	40.2%	16.1%	5.1%	1.4%	15.4%	100.0%
④ まち並み景観の美しさ	20.6%	41.0%	16.9%	4.7%	0.8%	16.1%	100.0%
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	43.4%	32.2%	5.8%	1.3%	1.0%	16.4%	100.0%
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	53.7%	23.0%	5.1%	1.3%	0.8%	16.1%	100.0%
⑦ 日常の買い物の便利さ	49.4%	26.2%	6.9%	1.1%	0.5%	15.9%	100.0%
⑧ 公園・緑地の充実度	20.3%	40.4%	17.7%	3.7%	1.6%	16.4%	100.0%
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	29.6%	31.0%	19.1%	2.1%	1.6%	16.6%	100.0%



<全体（合計）>

	回答数						合計
	重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	640	312	63	9	4	168	1196
② 豊かな自然環境	294	498	160	52	19	173	1196
③ 自然的景観の美しさ	244	472	231	60	16	173	1196
④ まち並み景観の美しさ	251	483	234	45	7	176	1196
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	555	374	71	13	9	174	1196
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	639	301	63	13	7	173	1196
⑦ 日常の買い物の便利さ	612	317	79	9	7	172	1196
⑧ 公園・緑地の充実度	251	494	203	55	20	173	1196
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	352	373	246	29	19	177	1196

	構成比						合計
	重要である	ある程度重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	
① 住まいの環境の良さ	53.5%	26.1%	5.3%	0.8%	0.3%	14.0%	100.0%
② 豊かな自然環境	24.6%	41.6%	13.4%	4.3%	1.6%	14.5%	100.0%
③ 自然的景観の美しさ	20.4%	39.5%	19.3%	5.0%	1.3%	14.5%	100.0%
④ まち並み景観の美しさ	21.0%	40.4%	19.6%	3.8%	0.6%	14.7%	100.0%
⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)	46.4%	31.3%	5.9%	1.1%	0.8%	14.5%	100.0%
⑥ 主な生活道路の快適性・安全性	53.4%	25.2%	5.3%	1.1%	0.6%	14.5%	100.0%
⑦ 日常の買い物の便利さ	51.2%	26.5%	6.6%	0.8%	0.6%	14.4%	100.0%
⑧ 公園・緑地の充実度	21.0%	41.3%	17.0%	4.6%	1.7%	14.5%	100.0%
⑨ 空家などの管理や発生抑制対策	29.4%	31.2%	20.6%	2.4%	1.6%	14.8%	100.0%



③満足度×重要度

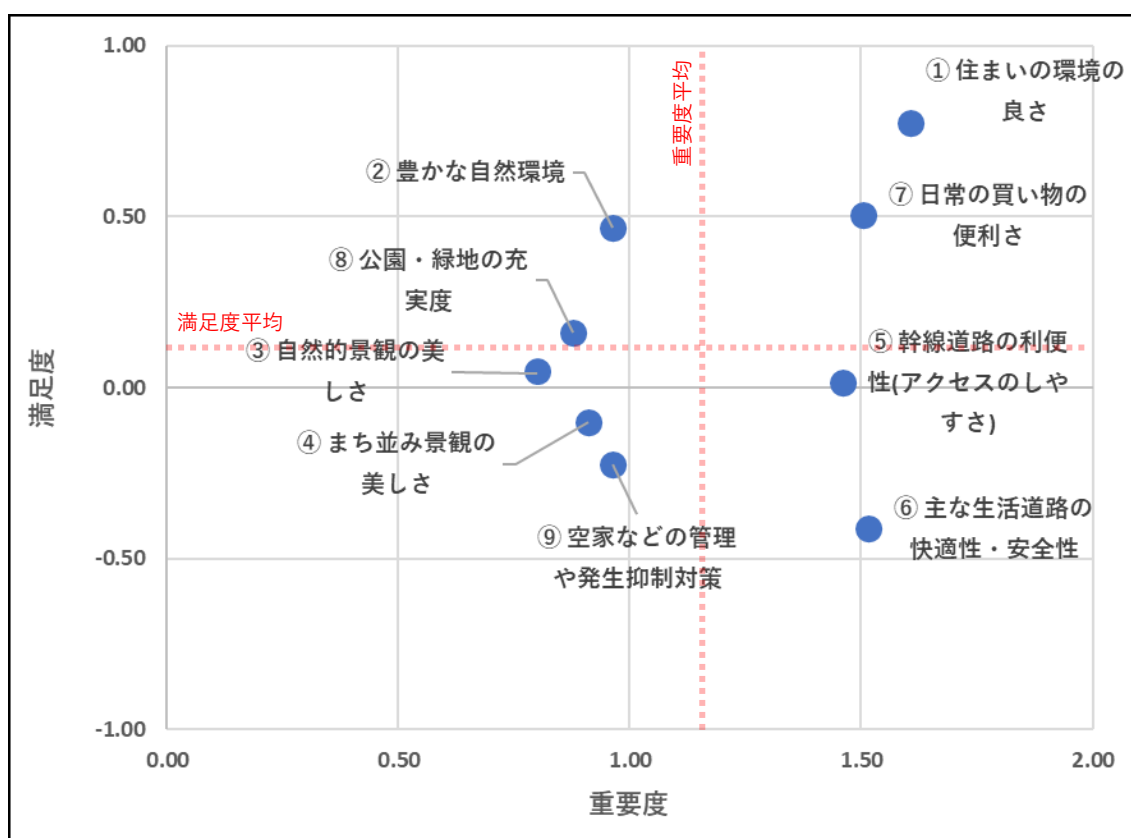
4段階での評価となっている満足度・重要度については、以下のように点数の重みづけをして集計を行っています。

評価		点数
満足している	重要である	+ 2
ある程度満足している	ある程度重要である	+ 1
あまり満足していない	あまり重要ではない	- 1
満足していない	重要ではない	- 2

【市街化区域】

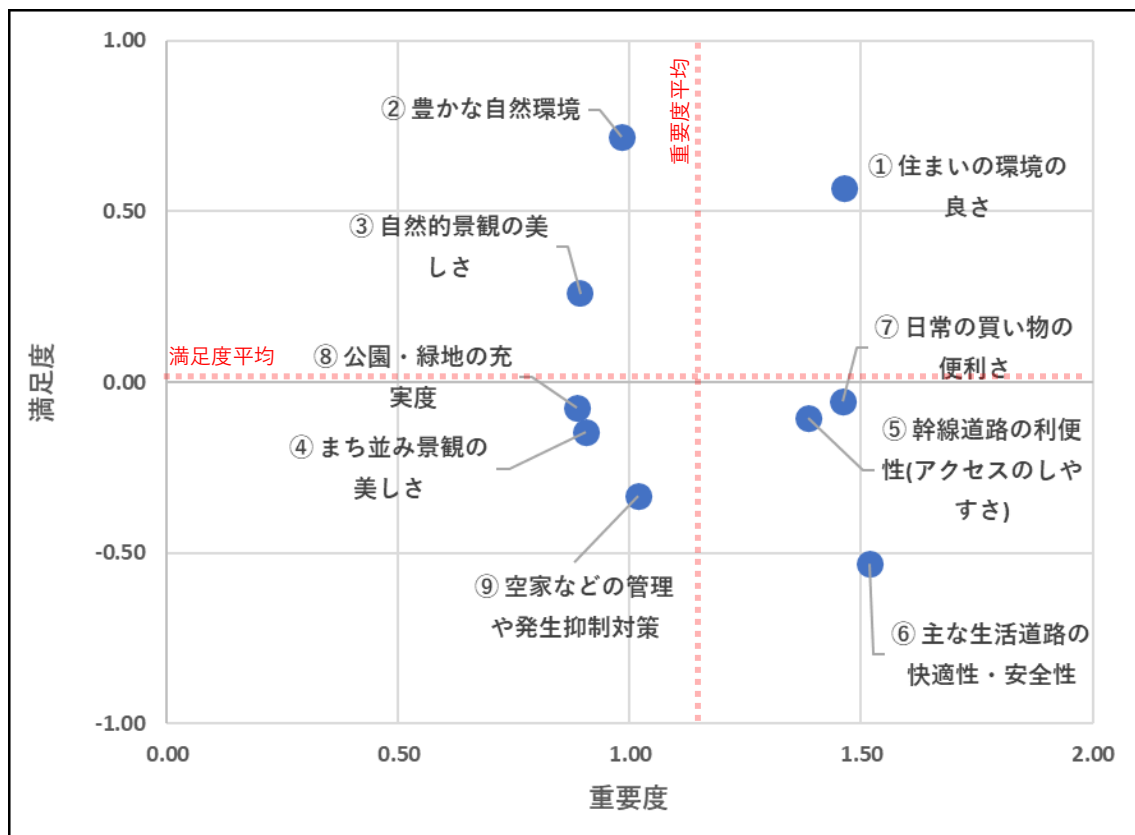
○重要度が高い評価となっているが満足度が低い評価となっているのは、「⑤ 幹線道路の利便性（アクセスのしやすさ）」、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」です。

○満足度と重要度がともに高い評価となっているのは、「① 住まいの環境の良さ」、「⑦ 日常の買い物の便利さ」です。



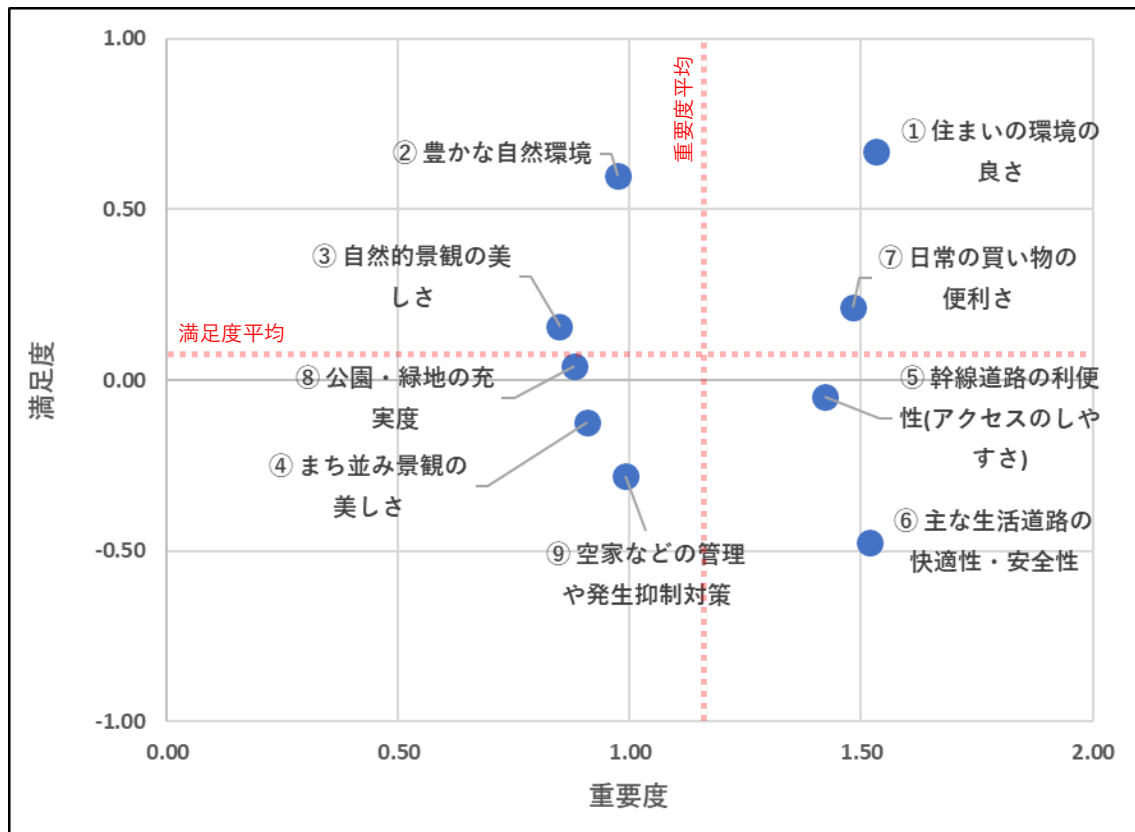
【市街化調整区域】

- 市街化区域と同様に重要度が高い評価となっているが満足度が低い評価となっているのは、「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」ですが、市街化調整区域においては、「⑦ 日常の買い物の便利さ」、「⑨ 空家などの管理や発生抑制対策」も重要度の評価が高いが満足度が低い評価となっています。
- 満足度と重要度がともに高い評価となっているのは、「① 住まいの環境の良さ」であり、満足度と重要度がともに低い評価となっているのは、「④ まち並み景観の美しさ」、「⑧ 公園・緑地の充実度」です。



【全体（合計）】

- 重要度が高い評価となっているが満足度が低い評価となっているのは、市街化区域と同様に「⑤ 幹線道路の利便性(アクセスのしやすさ)」、「⑥ 主な生活道路の快適性・安全性」です。
- 満足度と重要度がともに高い評価となっているのは、市街化区域と同様に「① 住まいの環境の良さ」、「⑦ 日常の買い物の便利さ」であり、満足度と重要度がともに低い評価となっているのは、「④ まち並み景観の美しさ」、「⑨ 空家などの管理や発生抑制対策」です。



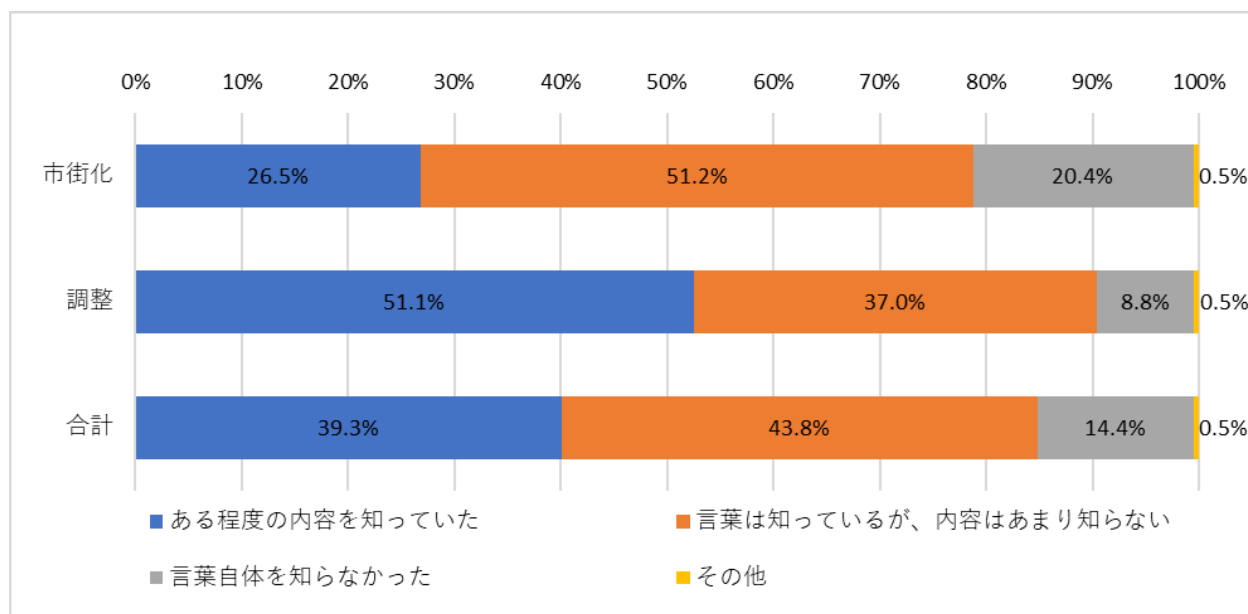
3) 区域区分について

問 7. 以前から、「市街化区域」や「市街化調整区域」がどのようなものかご存じでしたか。
(1つだけ○)

○市街化区域では、「言葉は知っているが、内容はあまり知らない」が最も多く 51.2%と過半を占めている一方で、「言葉自体を知らなかった」が 20.4%を占めています。

○市街化調整区域では、「ある程度の内容を知っていた」が最も多く 51.2%と過半を占めており、「言葉自体を知らなかった」は 8.8%と市街化区域に比べて少なくなっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
ある程度の内容を知っていた	152	318	470	26.5%	51.1%	39.3%
言葉は知っているが、内容はあまり知らない	294	230	524	51.2%	37.0%	43.8%
言葉自体を知らなかった	117	55	172	20.4%	8.8%	14.4%
その他	3	3	6	0.5%	0.5%	0.5%
無回答	8	16	24	1.4%	2.6%	2.0%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



4) 調整区域における問題点について

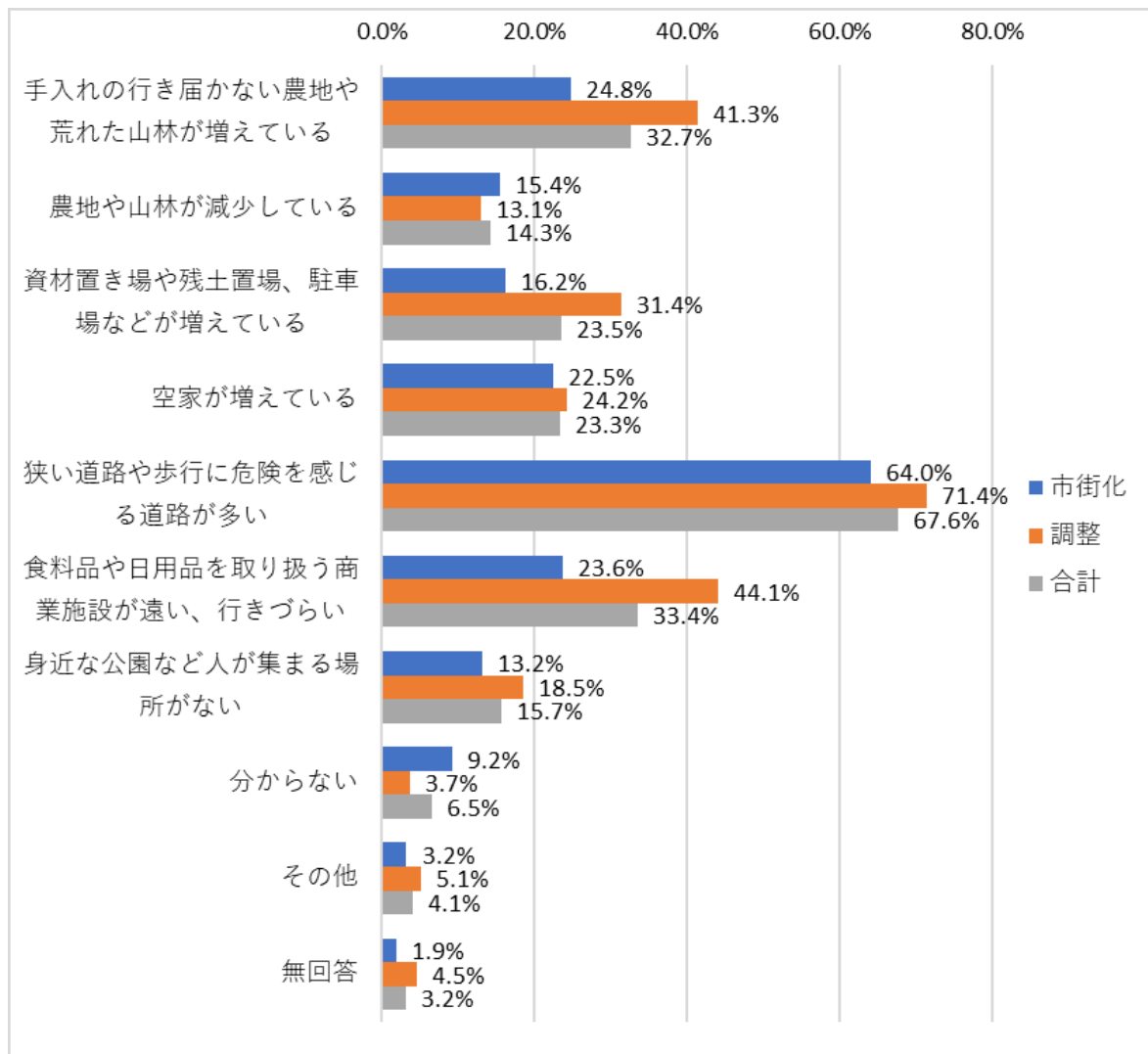
問 8. 市街化調整区域について、特に問題だと思われる点をお選びください。(3つまで○)

○市街化区域では、「狭い道路や歩行に危険を感じる道路が多い」が最も多く 64.0%、次いで「手入れの行き届かない農地や荒れた山林が増えている」が 24.8%であり、「食料品や日用品を取り扱う商業施設が遠い、行きづらい」、「空家が増えている」、「食料品や日用品を取り扱う商業施設が遠い、行きづらい」が 20%以上となっています。

○市街化調整区域でも、市街化区域と同様に「狭い道路や歩行に危険を感じる道路が多い」が最も多く 71.4%、次いで「食料品や日用品を取り扱う商業施設が遠い、行きづらい」が 44.1%となっています。

○市街化区域に比べて市街化調整区域で 15 ポイント以上の乖離がある「資材置き場や残土置場、駐車場などが増えている」、「食料品や日用品を取り扱う商業施設が遠い、行きづらい」は、居住者特有の問題だと考えられます。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
手入れの行き届かない農地や荒れた山林が増えている	154	237	391	24.8%	41.3%	32.7%
農地や山林が減少している	96	75	171	15.4%	13.1%	14.3%
資材置き場や残土置場、駐車場などが増えている	101	180	281	16.2%	31.4%	23.5%
空家が増えている	140	139	279	22.5%	24.2%	23.3%
狭い道路や歩行に危険を感じる道路が多い	398	410	808	64.0%	71.4%	67.6%
食料品や日用品を取り扱う商業施設が遠い、行きづらい	147	253	400	23.6%	44.1%	33.4%
身近な公園など人が集まる場所がない	82	106	188	13.2%	18.5%	15.7%
分からない	57	21	78	9.2%	3.7%	6.5%
その他	20	29	49	3.2%	5.1%	4.1%
無回答	12	26	38	1.9%	4.5%	3.2%
回答者数	622	574	1,196	-	-	-



5) 調整区域におけるまちづくり

問 9. 市街化調整区域における今後のまちづくりについて、あなたが特に重要と考えるものを、下の図を参考に、3つのエリア別にお答えください。



凡例

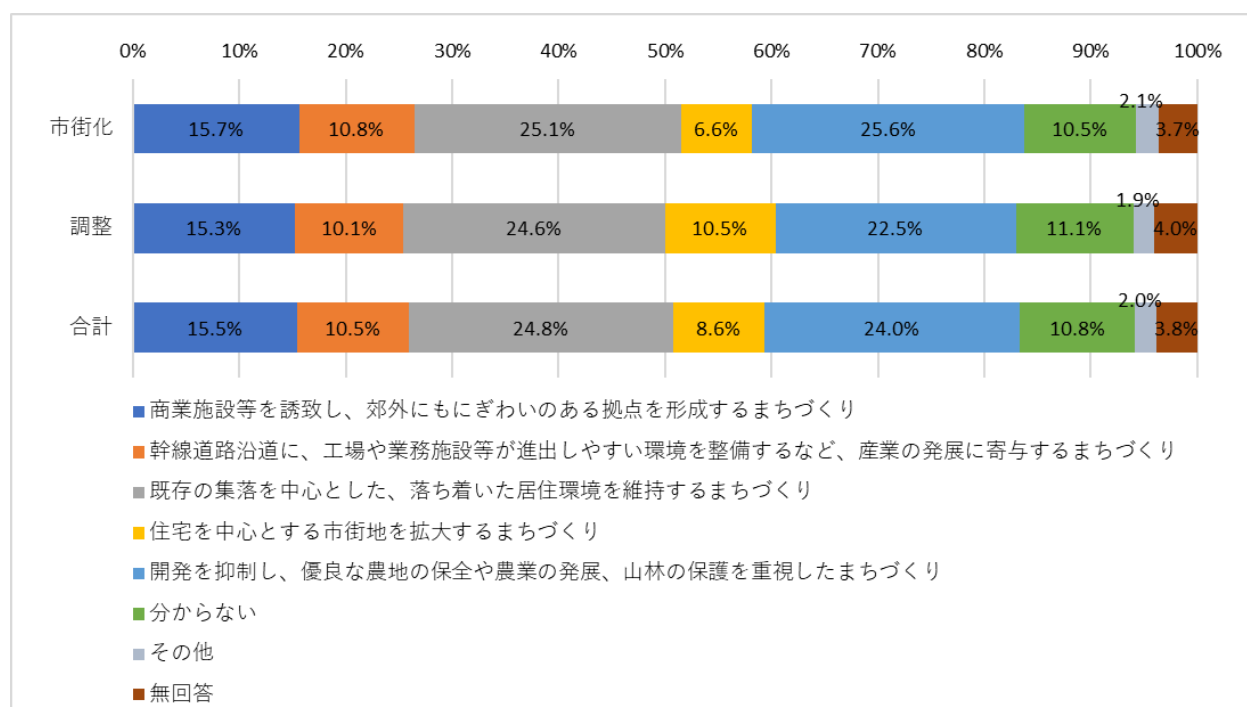
- 行政区域
- 市街化区域
- 国有地
- +□+ 鉄道
- 国道
- 県道
- その他主な道路
- ↔ 計画道路
- 計画インターチェンジ

- ① まとまった農地や樹園地があるエリア
- ② 駅周辺のエリア
- ③ 国道・県道沿道(計画中を含む)エリア

① まとまった農地や樹園地があるエリア（１つだけ○）

○まとまった農地や樹園地があるエリアのまちづくりにおいて重要と考えるものは、「既存の集落を中心とした、落ち着いた居住環境を維持するまちづくり」と「開発を抑制し、優良な農地の保全や農業の発展、山林の保護を重視したまちづくり」が約25%で最も高くなっており、次いで、「商業施設等を誘致し、郊外にもにぎわいのある拠点形成するまちづくり」が約16%となっています。

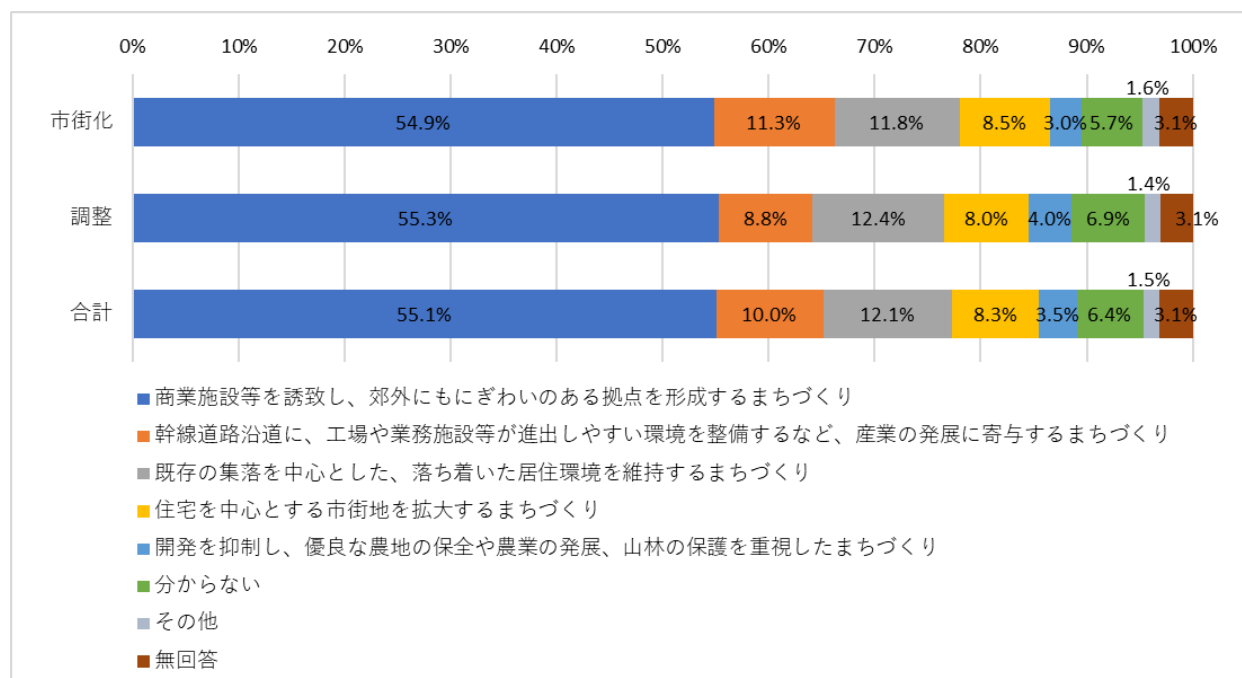
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
商業施設等を誘致し、郊外にもにぎわいのある拠点を形成するまちづくり	90	95	185	15.7%	15.3%	15.5%
幹線道路沿道に、工場や業務施設等が進出しやすい環境を整備するなど、産業の発展に寄与するまちづくり	62	63	125	10.8%	10.1%	10.5%
既存の集落を中心とした、落ち着いた居住環境を維持するまちづくり	144	153	297	25.1%	24.6%	24.8%
住宅を中心とする市街地を拡大するまちづくり	38	65	103	6.6%	10.5%	8.6%
開発を抑制し、優良な農地の保全や農業の発展、山林の保護を重視したまちづくり	147	140	287	25.6%	22.5%	24.0%
分からない	60	69	129	10.5%	11.1%	10.8%
その他	12	12	24	2.1%	1.9%	2.0%
無回答	21	25	46	3.7%	4.0%	3.8%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



② 駅周辺のエリア（1つだけ○）

○駅周辺のエリアのまちづくりにおいて重要と考えるものは、「商業施設等を誘致し、郊外にもにぎわいのある拠点を形成するまちづくり」が約 55%と突出して高く、駅周辺のエリアはにぎわいのあるまちづくりが求められています。

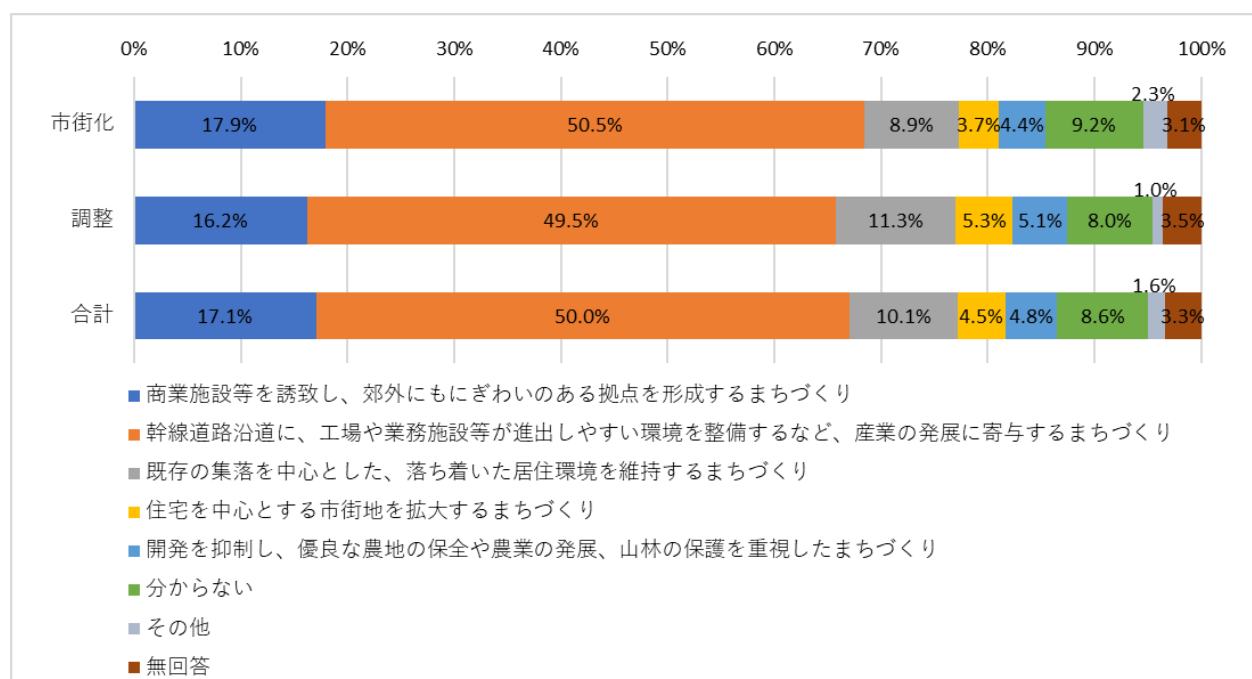
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
商業施設等を誘致し、郊外にもにぎわいのある拠点を形成するまちづくり	315	344	659	54.9%	55.3%	55.1%
幹線道路沿道に、工場や業務施設等が進出しやすい環境を整備するなど、産業の発展に寄与するまちづくり	65	55	120	11.3%	8.8%	10.0%
既存の集落を中心とした、落ち着いた居住環境を維持するまちづくり	68	77	145	11.8%	12.4%	12.1%
住宅を中心とする市街地を拡大するまちづくり	49	50	99	8.5%	8.0%	8.3%
開発を抑制し、優良な農地の保全や農業の発展、山林の保護を重視したまちづくり	17	25	42	3.0%	4.0%	3.5%
分からない	33	43	76	5.7%	6.9%	6.4%
その他	9	9	18	1.6%	1.4%	1.5%
無回答	18	19	37	3.1%	3.1%	3.1%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



③ 国道・県道*沿道のエリア *今後整備が予定されている北千葉道路やインターチェンジ周辺を含む（1つだけ○）

○国道・県道沿道のエリアのまちづくりにおいて重要と考えるものは、「幹線道路沿道に、工場や業務施設等が進出しやすい環境を整備するなど、産業の発展に寄与するまちづくり」が約 50%と突出して高く、国道・県道沿道のエリアは産業の発展に寄与するまちづくりが求められています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
商業施設等を誘致し、郊外にもにぎわいのある拠点を形成するまちづくり	103	101	204	17.9%	16.2%	17.1%
幹線道路沿道に、工場や業務施設等が進出しやすい環境を整備するなど、産業の発展に寄与するまちづくり	290	308	598	50.5%	49.5%	50.0%
既存の集落を中心とした、落ち着いた居住環境を維持するまちづくり	51	70	121	8.9%	11.3%	10.1%
住宅を中心とする市街地を拡大するまちづくり	21	33	54	3.7%	5.3%	4.5%
開発を抑制し、優良な農地の保全や農業の発展、山林の保護を重視したまちづくり	25	32	57	4.4%	5.1%	4.8%
分からない	53	50	103	9.2%	8.0%	8.6%
その他	13	6	19	2.3%	1.0%	1.6%
無回答	18	22	40	3.1%	3.5%	3.3%
合計	574	622	1,196	100.0%	100.0%	100.0%



6) 調整区域における所有地について

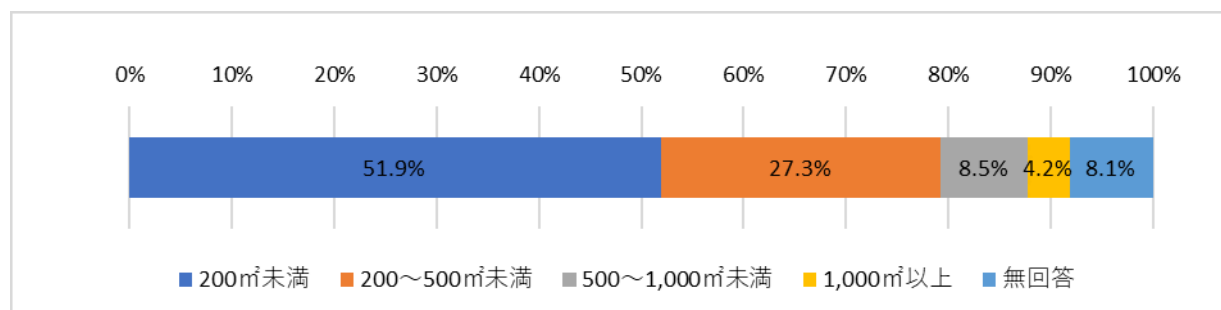
問 10. 所有されている土地について、①～④の用途別に、以下の設問にお答えください。 同じ用途で複数の土地を所有されている方は、当てはまるもの全てに○をつけてください。

① ご自宅（専用住宅） ＊市街化調整区域にお住まいの方

【敷地面積】

○市街化調整区域のご自宅（専用住宅）の敷地面積は、「200 ㎡未満」が最も多く 51.9%、次いで「200～500 ㎡未満」が 27.3%、「500～1,000 ㎡未満」が 8.5%となっています。

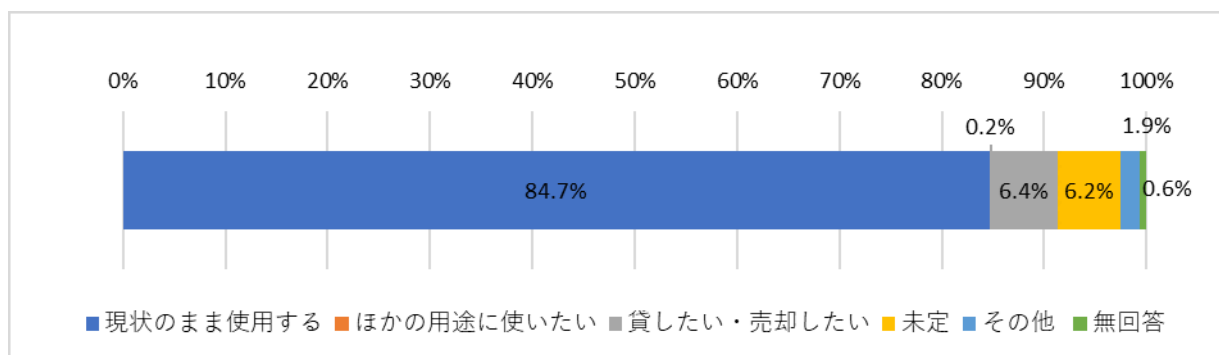
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
200㎡未満	59	190	249	57.3%	50.4%	51.9%
200～500㎡未満	23	108	131	22.3%	28.6%	27.3%
500～1,000㎡未満	5	36	41	4.9%	9.5%	8.5%
1,000㎡以上	0	20	20	0.0%	5.3%	4.2%
無回答	16	23	39	15.5%	6.1%	8.1%
合計	103	377	480	100.0%	100.0%	100.0%



【今後の利用意向】

○市街化調整区域のご自宅(専用住宅)の今後の利用意向は、「現状のまま使用する」が最も多く 84.7%、次いで「貸したい・売却したい」が 6.4%、「未定」が 6.2%となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
現状のまま使用する	97	313	410	94.2%	82.2%	84.7%
ほかの用途に使いたい	0	1	1	0.0%	0.3%	0.2%
貸したい・売却したい	2	29	31	1.9%	7.6%	6.4%
未定	3	27	30	2.9%	7.1%	6.2%
その他	0	9	9	0.0%	2.4%	1.9%
無回答	1	2	3	1.0%	0.5%	0.6%
合計	103	381	484	100.0%	100.0%	100.0%

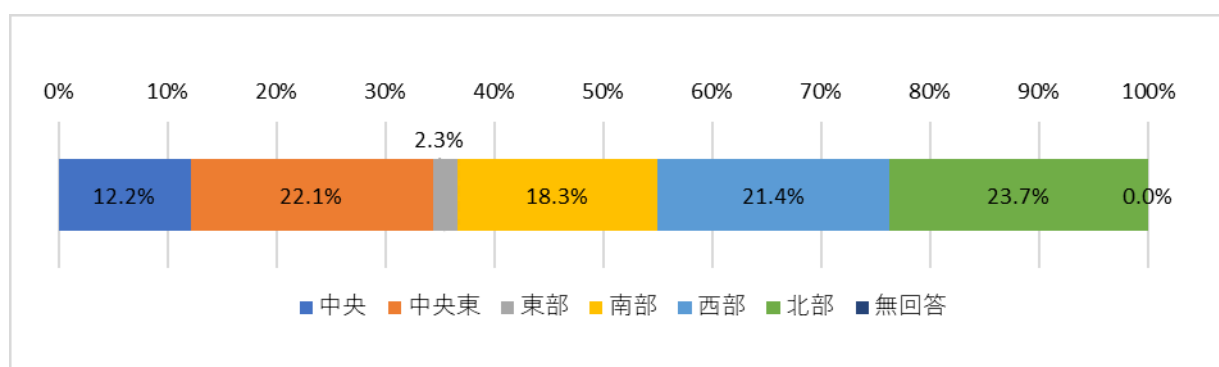


② 住宅用地（自宅を除く）・事業所用地（自宅を兼ねた施設を含む）

【地域】

○市街化調整区域の住宅用地（自宅を除く）・事業所用地（自宅を兼ねた施設を含む）の地域は、「北部」が最も多く 23.7%、次いで「中央東」が 22.1%、「西部」が 21.4%となっています。

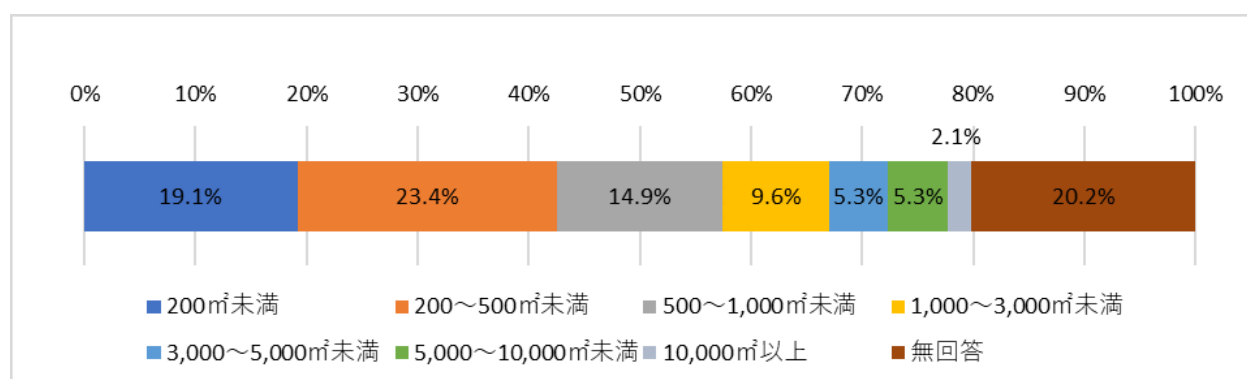
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
中央	8	8	16	26.7%	7.9%	12.2%
中央東	7	22	29	23.3%	21.8%	22.1%
東部	2	1	3	6.7%	1.0%	2.3%
南部	6	18	24	20.0%	17.8%	18.3%
西部	5	23	28	16.7%	22.8%	21.4%
北部	2	29	31	6.7%	28.7%	23.7%
無回答	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
合計	30	101	131	100.0%	100.0%	100.0%



【敷地面積（＊合計）】

○市街化調整区域の住宅用地（自宅を除く）・事業所用地（自宅を兼ねた施設を含む）の敷地面積は、「200～500㎡未満」が最も多く 23.4%、次いで「200㎡未満」が 19.1%、「500～1,000㎡未満」が 14.9%となっています。

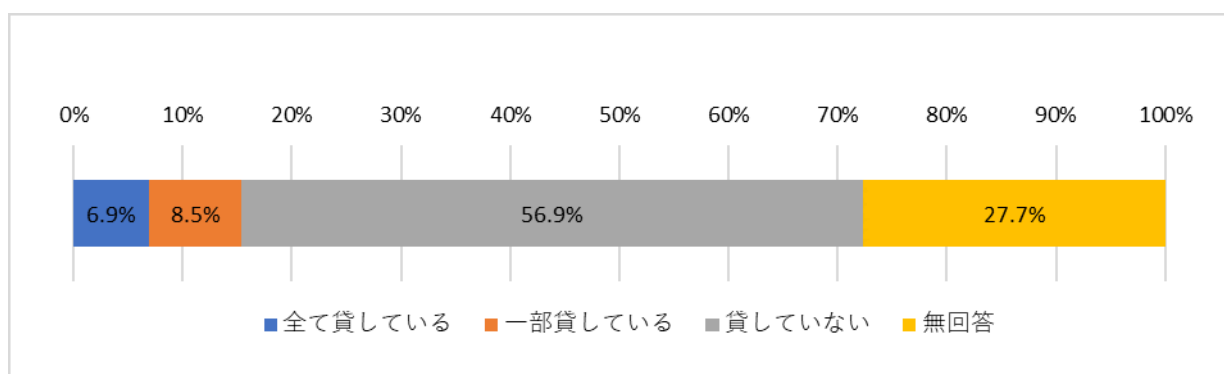
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
200㎡未満	12	24	36	13.6%	24.0%	19.1%
200～500㎡未満	22	22	44	25.0%	22.0%	23.4%
500～1,000㎡未満	14	14	28	15.9%	14.0%	14.9%
1,000～3,000㎡未満	9	9	18	10.2%	9.0%	9.6%
3,000～5,000㎡未満	5	5	10	5.7%	5.0%	5.3%
5,000～10,000㎡未満	5	5	10	5.7%	5.0%	5.3%
10,000㎡以上	2	2	4	2.3%	2.0%	2.1%
無回答	19	19	38	21.6%	19.0%	20.2%
合計	88	100	188	100.0%	100.0%	100.0%



【利用状況等】

○市街化調整区域の住宅用地（自宅を除く）・事業所用地（自宅を兼ねた施設を含む）の利用状況等は、「貸していない」が最も多く 56.9%、次いで「一部貸している」が 8.5%、「全て貸している」が 6.9% となっています。

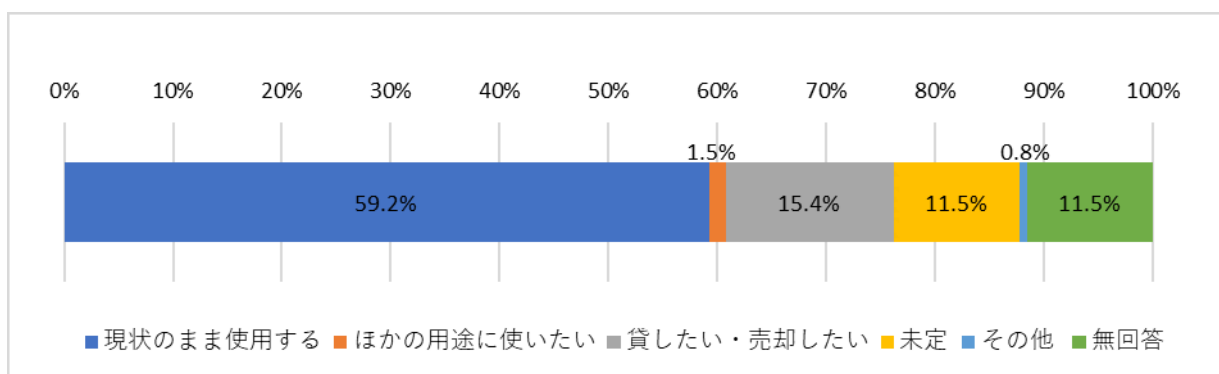
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
全て貸している	4	5	9	13.3%	5.0%	6.9%
一部貸している	1	10	11	3.3%	10.0%	8.5%
貸していない	16	58	74	53.3%	58.0%	56.9%
無回答	9	27	36	30.0%	27.0%	27.7%
合計	30	100	130	100.0%	100.0%	100.0%



【今後の利用意向】

○市街化調整区域の住宅用地（自宅を除く）・事業所用地（自宅を兼ねた施設を含む）の今後の利用意向は、「現状のまま使用する」が最も多く 59.2%、次いで「貸したい・売却したい」が 15.4%、「未定」が 11.5%となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
現状のまま使用する	22	55	77	73.3%	55.0%	59.2%
ほかの用途にしたい	0	2	2	0.0%	2.0%	1.5%
貸したい・売却したい	2	18	20	6.7%	18.0%	15.4%
未定	3	12	15	10.0%	12.0%	11.5%
その他	0	1	1	0.0%	1.0%	0.8%
無回答	3	12	15	10.0%	12.0%	11.5%
合計	30	100	130	100.0%	100.0%	100.0%

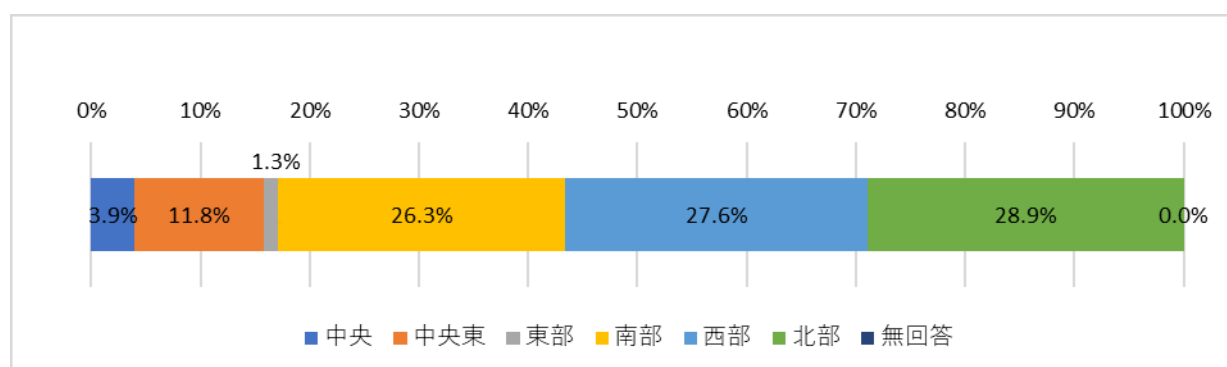


③ 農地・樹園地

【地域】

○市街化調整区域の農地・樹園地の地域は、「北部」が最も多く 28.9%、次いで「西部」が 27.6%、「南部」が 26.3%となっています。

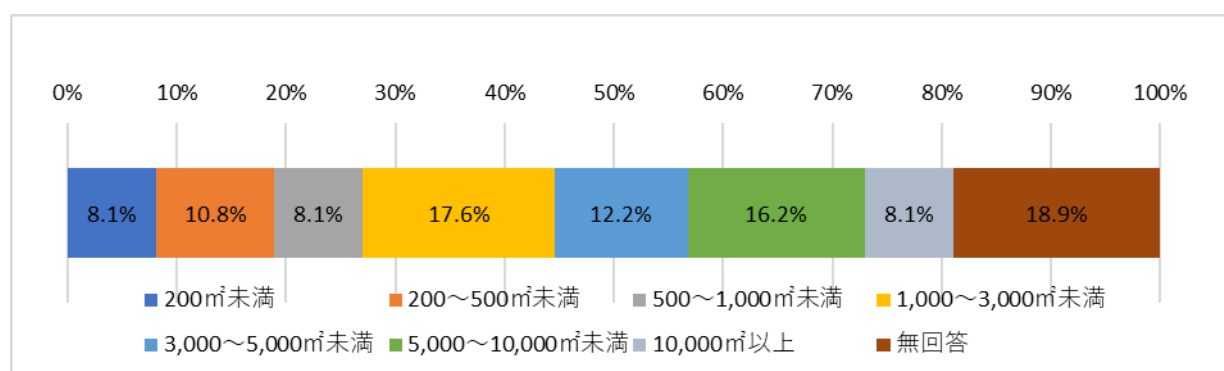
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
中央	0	3	3	0.0%	4.4%	3.9%
中央東	1	8	9	12.5%	11.8%	11.8%
東部	0	1	1	0.0%	1.5%	1.3%
南部	3	17	20	37.5%	25.0%	26.3%
西部	3	18	21	37.5%	26.5%	27.6%
北部	1	21	22	12.5%	30.9%	28.9%
無回答	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
合計	8	68	76	100.0%	100.0%	100.0%



【敷地面積（＊合計）】

○市街化調整区域の農地・樹園地の敷地面積は、「1,000～3,000 m²未満」が最も多く 17.6%、次いで「5,000～10,000 m²未満」が 16.2%、「3,000～5,000 m²未満」が 12.2%となっています。

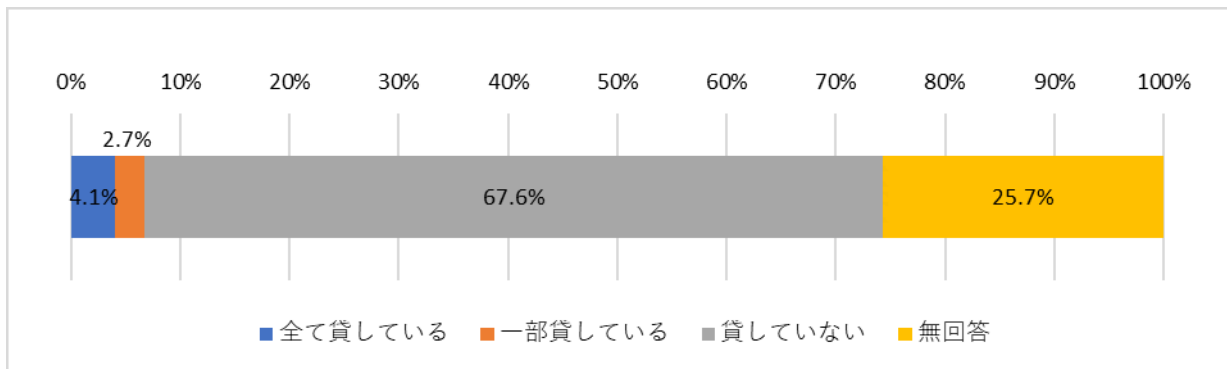
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
200m ² 未満	1	5	6	12.5%	7.6%	8.1%
200～500m ² 未満	1	7	8	12.5%	10.6%	10.8%
500～1,000m ² 未満	1	5	6	12.5%	7.6%	8.1%
1,000～3,000m ² 未満	1	12	13	12.5%	18.2%	17.6%
3,000～5,000m ² 未満	2	7	9	25.0%	10.6%	12.2%
5,000～10,000m ² 未満	1	11	12	12.5%	16.7%	16.2%
10,000m ² 以上	0	6	6	0.0%	9.1%	8.1%
無回答	1	13	14	12.5%	19.7%	18.9%
合計	8	66	74	100.0%	100.0%	100.0%



【利用状況等】

○市街化調整区域の農地・樹園地の利用状況等は、「貸していない」が最も多く 67.6%、次いで「全て貸している」が 4.1%、「一部貸している」が 2.7%となっています。

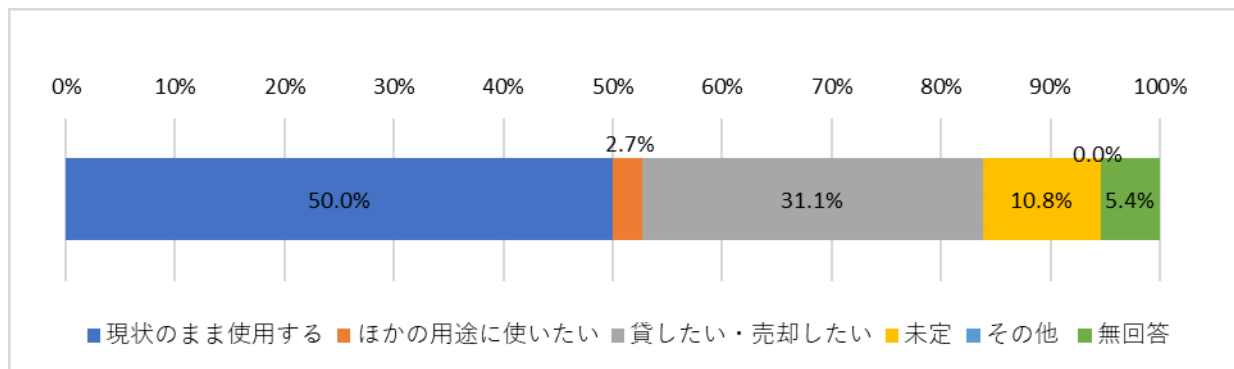
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
全て貸している	0	3	3	0.0%	4.5%	4.1%
一部貸している	0	2	2	0.0%	3.0%	2.7%
貸していない	6	44	50	75.0%	66.7%	67.6%
無回答	2	17	19	25.0%	25.8%	25.7%
合計	8	66	74	100.0%	100.0%	100.0%



【今後の利用意向】

○市街化調整区域の農地・樹園地の今後の利用意向は、「現状のまま使用する」が最も多く 50.0%、次いで「貸したい・売却したい」が 31.1%、「未定」が 10.8%となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
現状のまま使用する	4	33	37	50.0%	50.0%	50.0%
ほかの用途に使いたい	0	2	2	0.0%	3.0%	2.7%
貸したい・売却したい	2	21	23	25.0%	31.8%	31.1%
未定	1	7	8	12.5%	10.6%	10.8%
その他	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	3	4	12.5%	4.5%	5.4%
合計	8	66	74	100.0%	100.0%	100.0%

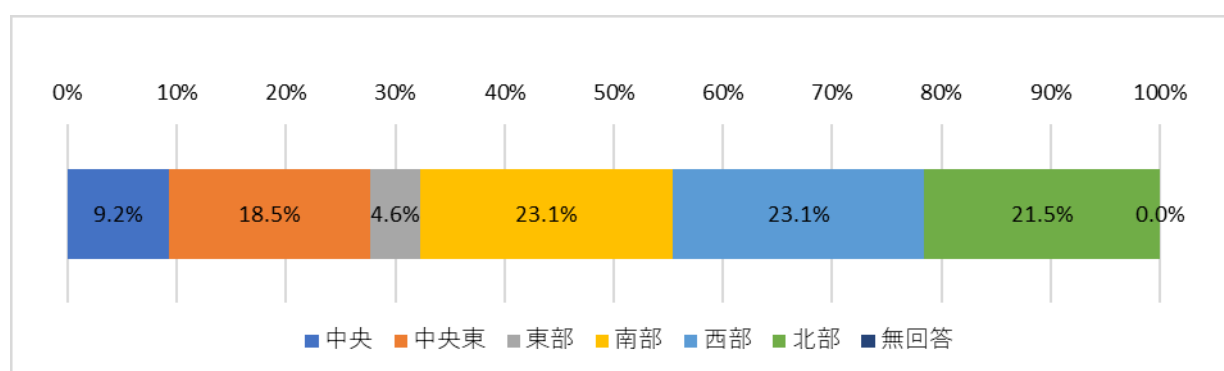


④ 駐車場、資材置き場、太陽光発電設備設置場所、空き地等

【地域】

○市街化調整区域の駐車場、資材置き場、太陽光発電設備設置場所、空き地等の地域は、「南部」と「西部」が最も多く 23.1%、次いで「北部」が 21.5%、「中央東」が 18.5%となっています。

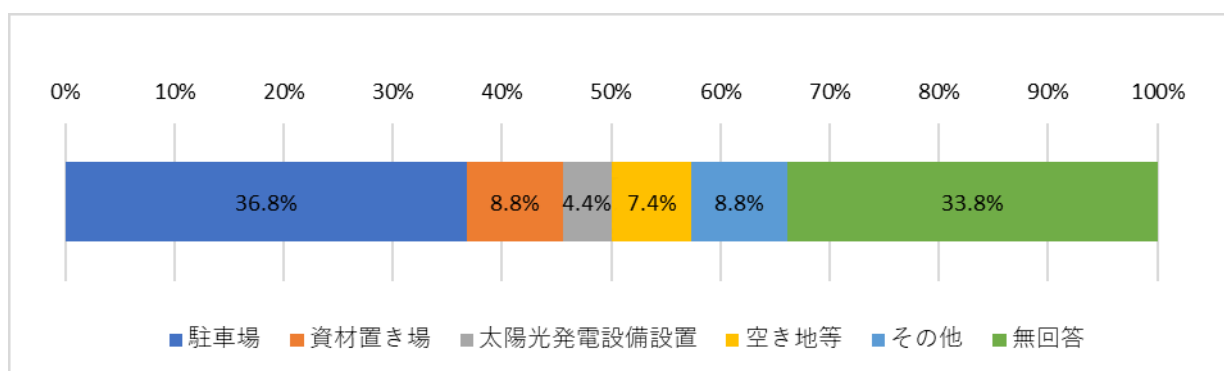
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
中央	1	5	6	9.1%	9.3%	9.2%
中央東	3	9	12	27.3%	16.7%	18.5%
東部	2	1	3	18.2%	1.9%	4.6%
南部	3	12	15	27.3%	22.2%	23.1%
西部	2	13	15	18.2%	24.1%	23.1%
北部	0	14	14	0.0%	25.9%	21.5%
無回答	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
合計	11	54	65	100.0%	100.0%	100.0%



【用途】

○市街化調整区域の駐車場、資材置き場、太陽光発電設備設置場所、空き地等の用途は、「駐車場」が最も多く 36.8%、次いで「資材置き場」と「その他」が 8.8%、「空き地等」が 7.4%となっています。

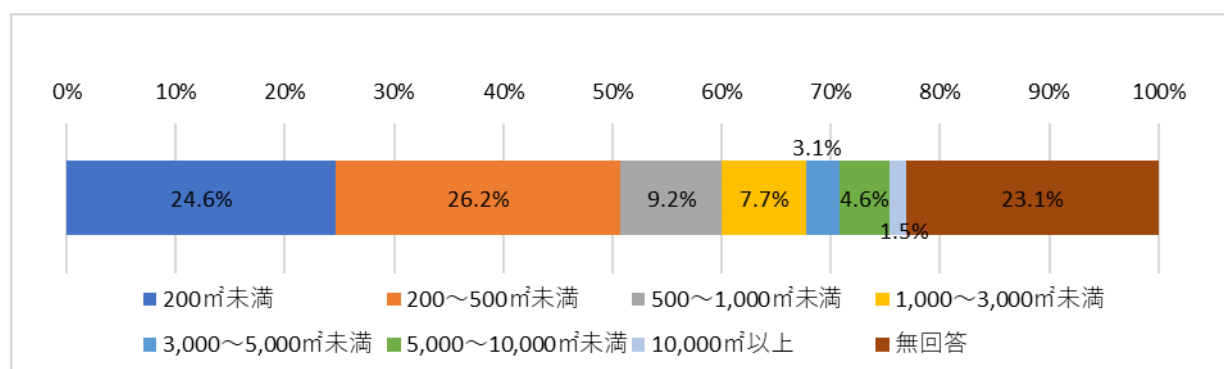
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
駐車場	3	22	25	27.3%	38.6%	36.8%
資材置き場	0	6	6	0.0%	10.5%	8.8%
太陽光発電設備設置	1	2	3	9.1%	3.5%	4.4%
空き地等	2	3	5	18.2%	5.3%	7.4%
その他	0	6	6	0.0%	10.5%	8.8%
無回答	5	18	23	45.5%	31.6%	33.8%
合計	11	57	68	100.0%	100.0%	100.0%



【敷地面積(*合計)】

○市街化調整区域の駐車場、資材置き場、太陽光発電設備設置場所、空き地等の敷地面積は、「200～500㎡未満」が最も多く26.2%、次いで「200㎡未満」が24.6%、「500～1,000㎡未満」が9.2%となっています。

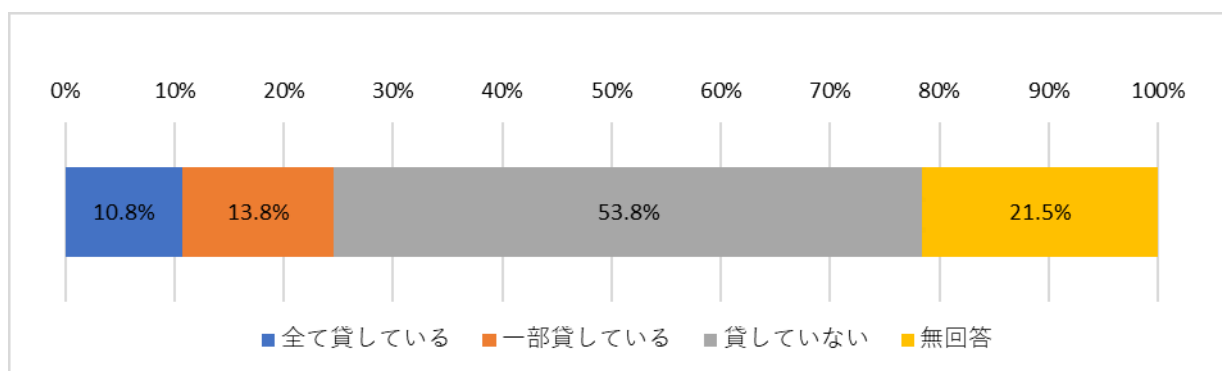
	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
200㎡未満	3	13	16	27.3%	24.1%	24.6%
200～500㎡未満	3	14	17	27.3%	25.9%	26.2%
500～1,000㎡未満	1	5	6	9.1%	9.3%	9.2%
1,000～3,000㎡未満	1	4	5	9.1%	7.4%	7.7%
3,000～5,000㎡未満	0	2	2	0.0%	3.7%	3.1%
5,000～10,000㎡未満	1	2	3	9.1%	3.7%	4.6%
10,000㎡以上	0	1	1	0.0%	1.9%	1.5%
無回答	2	13	15	18.2%	24.1%	23.1%
合計	11	54	65	100.0%	100.0%	100.0%



【利用状況等】

○市街化調整区域の駐車場、資材置き場、太陽光発電設備設置場所、空き地等の利用状況等は、「貸していない」が最も多く 53.8%、次いで「一部貸している」が 13.8%、「全て貸している」が 10.8% となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
全て貸している	0	7	7	0.0%	13.0%	10.8%
一部貸している	1	8	9	9.1%	14.8%	13.8%
貸していない	7	28	35	63.6%	51.9%	53.8%
無回答	3	11	14	27.3%	20.4%	21.5%
合計	11	54	65	100.0%	100.0%	100.0%



【今後の利用意向】

○市街化調整区域の駐車場、資材置き場、太陽光発電設備設置場所、空き地等の今後の利用意向は、「現状のまま使用する」が最も多く 53.8%、次いで「貸したい・売却したい」が 20.0%、「未定」が 9.2% となっています。

	回答数			構成比		
	市街化	調整	合計	市街化	調整	合計
現状のまま使用する	8	27	35	72.7%	50.0%	53.8%
ほかの用途に使いたい	0	2	2	0.0%	3.7%	3.1%
貸したい・売却したい	1	12	13	9.1%	22.2%	20.0%
未定	0	6	6	0.0%	11.1%	9.2%
その他	0	1	1	0.0%	1.9%	1.5%
無回答	2	6	8	18.2%	11.1%	12.3%
合計	11	54	65	100.0%	100.0%	100.0%

